

目 录

序言	1
本册内容与结构	4
正课	
第21課 火山と温泉	10
第22課 贈り物	25
第23課 おいしい生活	41
第24課 鶴の恩返し	56
第25課 大陸は動く	76
第26課 植物のにおい	95
第27課 案内状の書き方	111
第28課 腕時計	127
第29課 都市の住宅事情	142
第30課 日本人と魚	157
第31課 山国の春，北国の春	174
第32課 ツバメ	190
第33課 先端技術と伝統文化	207
第34課 新発明のマクラ	222
第35課 日本人と仕事	239
第36課 ミニヤコンカの奇跡	259
第37課 小さな出来事	277
第38課 日本語と国際交流	296
第39課 座談会一話せる喜びー	310
第40課 模擬試験	327

第 21 課

第 21 課 火山と温泉

(1)

日本の国土は、地球上の陸地のわずか400分の1にすぎない。しかし、その狭い国土になんと世界の火山の10分の1が集まっている。日本の風土を考えるうえで、これらの火山の存在を無視することはできない。

火山が多くて困るのは、地震が頻繁に起こったり、火山の噴火によって被害を受けたりすることである。例えば、九州の鹿児島市では、桜島という火山が噴き上げる火山灰のために、市民の生活や農作物がしばしば被害を受ける。最近では、1986年11月に、東京の南にある伊豆大島で、三原山という火山が噴火して。溶岩が流れ出し、島の住民が一時本州に避難するという騒ぎがあった。

しかし、困ることがある一方で、逆にありがたいこともある。それは、火山の恵みである温泉が日本のいたる所に湧き出ていることである。

温泉の湯には、硫黄やカルシウムなどさまざまな成分が含まれていて、病気やけがを治す働きがある。だから、日本では昔から「湯治」と言って、病気やけがを治すために、よく温泉を利用した。

第 21 課

温泉のある所は、美しい山や川など、自然の景観にも恵まれているから、「湯治」は昔の人にとって数少ない娯楽の一つでもあった。山の緑を眺めながら、あるいは川の流れる音を聞きながら、のんびりと温泉につかるのを、日本人はこのうえない楽しみとしてきたのである。

日本人は世界でもとりわけ風呂好きな民族と言われているが、温泉が日本人の風呂好きという性格を作ったと言っても過言ではないだろう。

温泉は、湯に入って疲れをいやしたり病気を治したりできるだけではない。温泉の熱を使って、野菜を育てたり、魚を飼ったりすることもできる。さらに、最近では、温泉の熱を利用した地熱発電の研究も行われている。地熱発電は技術的にまだまだ難しい問題があるようだが、温泉の熱をエネルギー源にしようという考えは、火山の多い日本にとってたいへん魅力的である。

(2)

王：今度佐藤さんと箱根の温泉に行くんです。

田中：そうですか。それはいいですね。

王：温泉だから、やっぱり火山があるんでしょう。火山も見てみたいと思ってるんですが。

田中：もちろんありますよ。噴火した火口の跡があって、今でも水蒸気が噴き出してるんです。

王：ぜひ行ってみたいですね。でも、急に噴火しない

第 21 課

でしょうか。このあいだ、伊豆大島の三原山が噴火したでしょう。

田中：だいじょうぶですよ。箱根は三原山ほど火山の活動が活発じゃあないから、心配することはありません。

王：それなら安心ですね。でも、このあいだの三原山の噴火にはびっくりしました。

田中：そうでしょうね。実は、ぼくも、まさかあんなに大きな騒ぎになるとは思わなかったんです。火山の噴火なんてめったにないんですが、日本は火山が多いから油断はできないですね。けれど、火山のおかげで得をしてることもあるんですよ。

王：温泉が豊富なのは火山のおかげですものね。

田中：ええ。それに、火山の近くは、湖があったりして、景色のいい所が多いんです。だから、日本の国立公園には、たいてい火山と温泉があるんですよ。

第 22 課 贈り物

(1)

日本には、お中元とお歳暮という贈り物の習慣がある。

お中元もお歳暮も、もともと神や仏に供える米や餅、魚などを親しい人に贈る、という宗教行事だった。それが、しだいに宗教行事としての意味を失い、現在では、世話になっている人に感謝のしるしとして贈り物をする、という習慣になっている。

個人の間はもとより、会社の間でも盛んに贈り物のやりとりが行われる。贈り物に使われる品も、砂糖やお茶などの食料品、食器類や衣類などの日用品と、実に多種多様である。そのため、毎年、7月のお中元の時期と12月のお歳暮の時期になると、全国のデパートや商店にさまざまな贈答品が並べられ、店内はそれを買求める客でごった返す。

お中元にしろお歳暮にしろ、本来の宗教的な意味はなくなり、今では、多くの人がただ社交のために贈っているだけである。「このような習慣は廃止しよう。」という声もあるが、現実には一向になくなる気配はない。それどころか、外資系の会社に対しても、「郷に入っては郷

第 22 課

に従え。」とばかりに、中元・歳暮の習慣を取り入れたらどうかと、デパートが働きかけるほどである。

ところで、贈り物と言えば、最近、おもしろい贈り物の習慣ができた。2月14日、キリスト教の聖バレンタインデーに、女性が好きな男性にチョコレートを贈る、という習慣である。こんな習慣は、キリスト教の国々にもない。

最初は、若者の間で始まった、このチョコレートのやりとりは、会社などを中心に、今や年齢に関係なく広まりつつある。

バレンタインデーにチョコレートを贈るという習慣は、製菓会社がチョコレートの売上げの増加をねらって作り出したものらしい。製菓会社の販売作戦にまんまと乗せられたと言えればそれまでだが、贈り物の好きな人間の心理をうまくつかんだ製菓会社の作戦勝ちというところであろうか。

(2)

吉田夫人：ごめんくださいませ。

田中夫人：はい。まあ、これはこれは、吉田さんの奥様。

吉田夫人：いつも主人がたいへんお世話になりました。

田中夫人：いいえ、こちらこそ。よくいらっしゃいました。さあ、どうぞ、お上がりください。

第 22 课

吉田夫人：いえ，ここで失礼させていただきます。これはつまらない物でございますが，皆様に召し上がっていただければと存じまして。

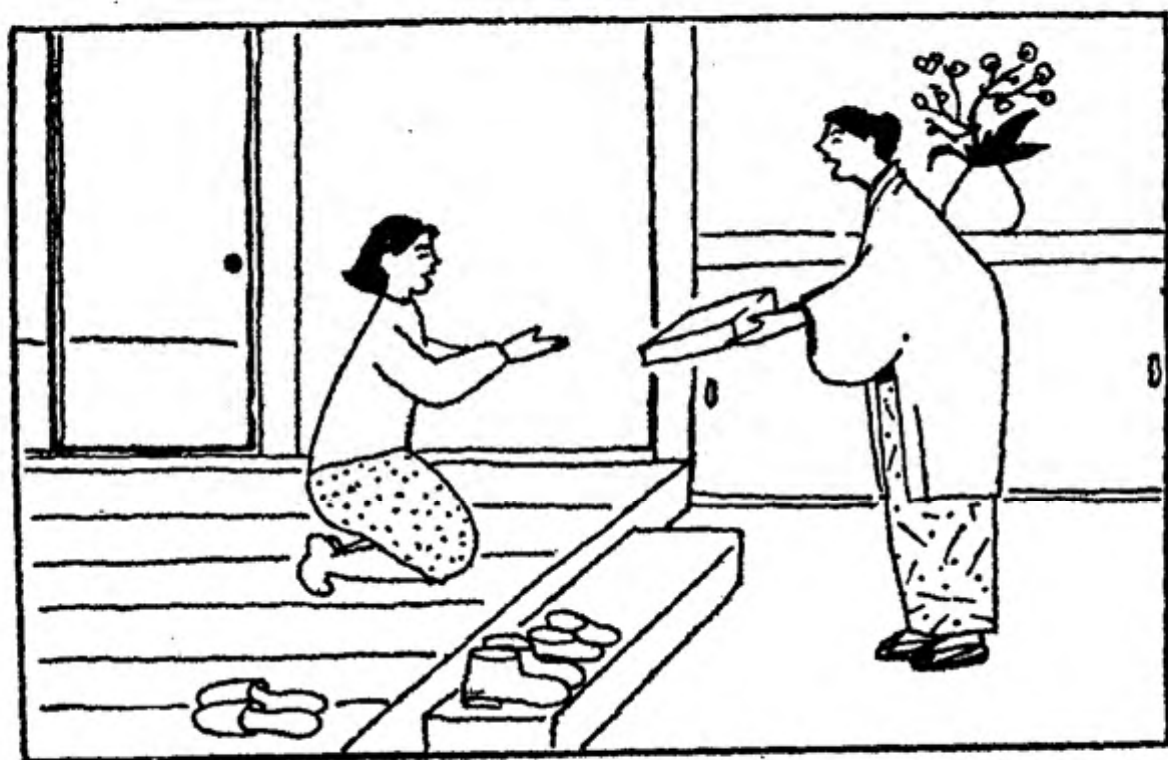
田中夫人：まあ，それはご丁寧に恐れ入ります。どうかこんなご心配なさらないでください。

吉田夫人：これからどうぞよろしくお願い申し上げます。どうもお忙しいところをおじゃまいたしました。

田中夫人：まあ，何のおかまいもいたしませんで。

吉田夫人：ご主人様にどうかよろしくお伝えくださいませ。では，失礼いたします。

田中夫人：そうですか。ご丁寧にありがとうございました。では，ごめんくださいませ。



第 23 課 おいしい生活

(1)

日本が広告に費やしている費用は、今や国民総生産の1%以上だそう。およそ3兆円という莫大な金額である。テレビのコマーシャルをはじめとして、新聞や雑誌の広告欄、看板やポスターなど、私たちの身の回りは広告だらけだ。これだけ多くの広告が次々と作られているのだから、広告費がかかるのも当然である。

広告と言えば、しばらく前に「おいしい生活」という広告があった。「おいしい」という言葉は普通食べ物に用いるので、「おいしい生活」は正しい日本語の表現とは言えない。これは、あるデパートが出した広告の宣伝文句なのである。

だが、そう言われても、どうしてこれがデパートの広告なのか、と首をかしげる人がいるにちがいない。実際、これを初めて目にした時は、だれもが「おやっ」と思った。広告であることはわかるが、何の広告なのかよくわからないというのが、最初の印象だった。しかし、意味のよくわからない広告だからこそ、多くの人が興味をそそられて、これに注目したのである。

「おいしい生活」がポスターやテレビに登場するやいな

第23課

や、それはたちまち人々の話題をさらった。おかげで、この広告を出したデパートの名前が売れたことは言うまでもない。

この出来事は、大胆で奇抜な広告が人気を集める時代であることを強く人々に印象づけ、新しい広告の流行を作り出した。

ちなみに昔はどうだったかと言うと、覚えやすい文句で、何の宣伝かだれにでもすぐわかる広告がほとんどだった。しかし、現代では、あたりまえの宣伝文句ではとうていはやらない。もっと人を「おやっ」と思わせるような広告が流行になっているからだ。

このような流行は商品広告だけではない。公共広告も、以前は「暴力追放」とか「お年寄りを大切に」といった、わかりやすい呼びかけがほとんどだったが、最近では、大胆で奇抜なものに変わってきた。

金銭的な利益に結び付かない公共広告も、広告であるからには、時代の流行に関心ではいけないのだろう。

(2)

張：あれ。これは映画のポスターかな。

山田：ああ、これは地下鉄の公共広告のポスターだよ。

「独裁者」っていう、チャップリンの映画のパロディーさ。

第23課

張：ふうん。「独占者」と書いてあるね。

山田：つまり、座席を独り占めしないで、お互いに譲り合って座るようにしようっていう広告なんだよ。

張：へえ、おもしろいねえ。でも、そういうふうに説明されないと、ぼくらにはわからないなあ。

山田：そうだろうね。最近の日本では、この広告みたいにちょっと奇抜なものが多いんだよ。まあ、一つの流行だろうな。広告っていうのは、いいにつけ悪いにつけ、時代の流行に影響されるからね。

張：なるほど。公共広告も、時代の流行には無関心ではいられないわけだね。

山田：まあ、日本人は流行に振り回されているんじゃないかという気がしないでもないけど。

張：だけど、次々と作られる流行が、社会に活力を与えているのは確かだと思うよ。



第24課

第24課 鶴の恩返し

昔、ある所に、貧乏な若者がおりました。

ある日のことです。若者が田を耕していると、体に矢が刺さった。羽の鶴が舞い降りて来ました。鶴は、まるでこの矢を抜いてくれと言わんばかりに鳴いていました。「かわいそうに。よしよし、少しのしんぼうだよ。」

若者は、そう言って矢を抜いてやりました。

鶴は、まるでおじぎをするかのように、何度も首を振りながら、うれしそうに飛んで行きました。

その三日あとの夜のことでした。若者が寝ようとしてみると、表の戸をトントンとたたく音がしました。

「いったいこんな時間にだれだろう。」

若者が戸を開けると、そこには、目もくらむばかりに美しい娘が立っていました。

「道に迷っているうちに、夜になってしまいました。申しわけありませんが、今晚ここに泊めていただけないでしょうか。」

「それはお困りでしょう。こんな狭い所でよかったら、どうぞお泊まりください。」

若者は、そう言って、その娘を泊めてやりました。

ひと晩だけかと思ったら、娘は、その次の日も泊めてくれと言いました。若者が、よかったら何日でも泊まっ

第24課

ていきなさいと言うと、娘は、次の晩も、またその次の晩も泊まりました。そして、とうとう若者の嫁にしてくれと言い出しました。

若者は、

「貧乏なおれの嫁になっても、苦労するばかりだ。」

と言いましたが、娘は、

「どんなに貧乏でもかまいません。一生懸命働きますから、どうか嫁にしてください。」

と頼みました。もちろん、若者にとってこんなうれしいことはありません。喜んでその娘を嫁にしました。

娘は、美しく、優しく、そして働き者でした。若者は、まるで夢でも見ているような幸せな気持ちでした。

ある日のこと、娘は、若者に、機を織る部屋を作ってほしいと言いました。若者が機を織る部屋を作ってやると、今度は、

「どうかわたしが機を織ってるところを決して見ないでください。」

と言いました。なぜか尋ねると、

「わけは言えません。とにかく絶対に見ないと約束してください。約束を破ると、わたしはあなたの所にいられなくなります。」

と、強い調子で言いました。

若者が絶対に見ないと約束すると、娘はその部屋に入って機を織り始めました。やがて部屋から出て来た娘

第24課

は、少し疲れた様子でしたが、にっこりと笑って、織り上がった布を若者に見せました。それは、若者がこれまでに見たこともないきれいで、立派な織物でした。

「これを町へ持って行って、売ってください。きっと高く売れるでしょう。」

娘にそう言われて、若者はそれを町へ売りに行きました。すると、驚いたことに、町いちばんの金持ちが、信じられないような大金でその織物を買ってくれました。

若者はうれしくてたまりません。家に帰ると、娘に、もう一回織ってくれ、と頼みました。娘はうなずいて、また部屋に入って機を織り始めました。

ふと、若者は不思議に思いました。

「どうしてあんなにきれいで立派な織物ができるのだろう。ちょっと見てみたいものだ。」

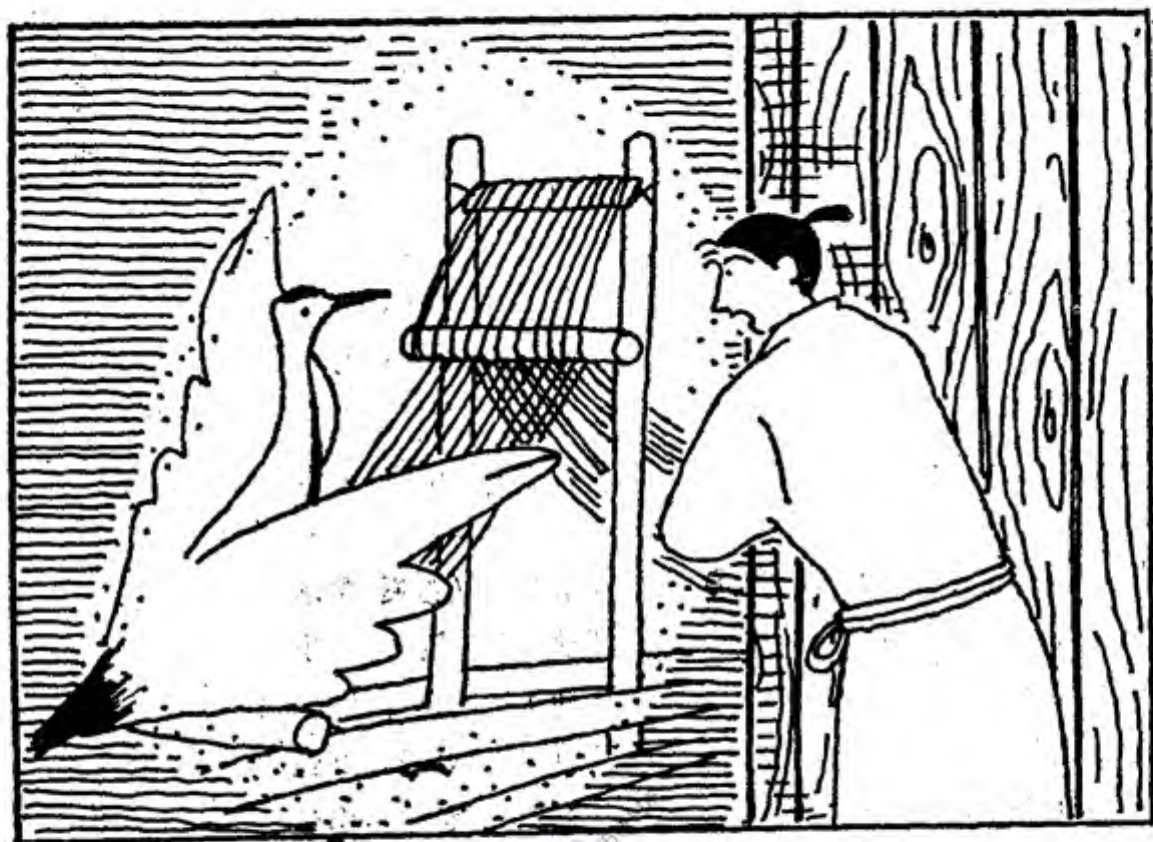
若者は、もし見たらあなたの所にはいられなくなる、と言った娘の言葉を思い出して、じっとがまんしました。けれども、とうとうがまんができなくなって、小さなふし穴から部屋の中をのぞきました。

「ありゃりゃ……か！」

若者は、のぞいてびっくりしました。部屋の中にいるのは、あのきれいで優しい娘ではなく、一羽の鶴でした。鶴が、自分の羽を抜いては織り、抜いては織りしているのです。

若者に見られてしまった鶴は、悲しそうに言いまし

第24課



た。「見ないでくださいと言ったのに、あなたは見てしまいました。わたしは、以前あなたに助けていただいた鶴です。恩返しのためにあなたの所に来ましたが、見られてしまった以上、もうここにいるわけにはいきません。」

そう言うと、鶴は、織物を半分織りかけたまま、遠い空へ飛んで行ってしまいました。

悲しそうな鶴の鳴き声だけが、夕焼けの空にいつまでも響いていました。

第 25 課

第 25 課 大陸は動く

大竹政和

ここに、1枚の地図がある。大西洋を中心に、東側にアフリカ大陸とヨーロッパ、西側に南北アメリカ大陸が描かれている。この地図をじっくり眺めてみよう。何か気づくことはないだろうか。

試しに、アフリカの西海岸と南アメリカの東海岸とを合わせてみよう。二つの海岸線は、まるで絵パズルののように、見事に重なり合ってしまうのではないか。こんな不思議なことが、偶然に起こるものだろうか。



第 25 課

今から70年余り前、ドイツの気象学者アルフレッド＝ウェゲナーは、この海岸線のなぞに気づき、強く興味をそそられた。なぜ、こんなことが起こったのだろうか。ある時、ウェゲナーの頭に大胆な考えがひらめいた。大西洋の東と西の大陸は、もともとくっついていたのではないか。それが二つに分かれて移動し始め、今では何千キロメートルも離れてしまったのではないか。

これは、あまりにも常識を超えた、とっぴな考えであった。けれども、研究を進めるにつれて、ウェゲナーは、この考えの正しさにしだいに確信を深めていった。

もし、もともと一つの大陸であったのなら、大昔の古い地層は、両方の大陸でつながっているはずである。調べてみると、アフリカの昔の山脈が、南アメリカの南部につながっていることがわかった。地層の重なり方がぴったり一致するだけでなく、遠く離れた二つの大陸の同じ地層から、同じ種類の化石が発見された。また、ある種類のカタツムリは、世界中でも、ヨーロッパの西部と北アメリカの東部にしか住んでいないこともわかった。カタツムリが、大西洋を泳いで渡ることなどできるだろうか。

こうして、ウェゲナーの研究は、世界各地の動物や植物、古い化石、昔の氷河の跡などへと、次々に広がっていった。その結果、アフリカと南アメリカだけでなく、現在海を隔てて離れ離れになっているすべての大陸は、

第 25 課

大昔は一つにつながっていたのだ、と考えるようになった。このひとつながりの大きな大陸は、「パンゲア」と呼ばれている。パンゲアとは、「すべてが一つの大陸」という意味である。

ウェゲナーが唱えたこの「大陸移動説」は、世界中の人々を驚かせ、学者たちの議論の的となった。

しかし、多くの学者たちは、この説に賛成しなかった。重く大きな大陸が、どのようにして何千キロメートルも航海できたのか、その原動力がはっきりしなかったからである。

ウェゲナーが出したいいくつかの仮説は、どれも大陸を動かせるような大きな力ではなく、皆消えていった。結局、その原動力を探し出すことができず、わずか20年ののちには、大陸移動説はすっかり忘れ去られてしまった。

それからまた20年、1950年代になると、わたしたちが住む地球に関する観測や研究が急速に発展してきた。そして、海底や地球の内部の様子、地震の原因などが少しずつ明らかになるにつれて、一度見捨てられた大陸移動説が、再びよみがえってきたのである。

大陸を動かす原動力は、何だったのだろうか。その前に、目を海底に向けてみよう。大西洋の真ん中には、ほぼ南北に、海底山脈がえんえんと走っている。長さにして地球の一周の約3分の1、高さ3千メートルに達する

第25課

大山脈である。その頂に沿って、たくさんの地震が起きている。また、山脈の近くの海底の温度を調べてみると、他の場所よりもはるかに高いことがわかった。海底山脈の所では、何かたいへんな出来事が起きているにちがいない。

実は、海底山脈の真下には、岩石がどろどろに溶けた熱いもの（マグマ）が湧き上がってきているのである。このマグマは、海底まで上がってくると、やがて冷え固まって、岩盤となる。もう少し深い所では、完全には冷え固まらず、海底の岩盤の下を左右に分かれて流れていく。固まりかけの岩石は、ゆっくりと、まるで液体のように流れることができるのである。この流れに乗って、海底の岩盤は左右に広がりながら動いていく。こうして、海底山脈の下では、次々に新しい岩盤が生まれ、送り出されているのである。

海底の岩盤の上にある大陸は、この広がる岩盤に乗って運ばれ、だんだん離れていく。大陸を動かす原動力は、動く海底の岩盤だったのである。

海底の岩石ができた年代を調べてみると、海底山脈に近い所では若く、遠く離れるにつれて、しだいに年をとっている。1年間にわずか数センチメートルという非常にゆっくりとした速度ではあるが、海底は確実に動いている。

やはり、アフリカと南アメリカとは、もとは一つの大

第25课

陸だったのだ。それだけでなく、地球のすべての大陸は、ウェゲナーが言ったように、ただ一つの大陸、パンゲアだったにちがいない。1枚の地図からウェゲナーの頭にひらめいた夢のような考え、大陸移動説は、科学の進歩によって見事に証明されたのである。

〔作者〕大竹政和(おおたけまさかず)

1939年生于东京，地震学家。着重研究发生地震的机制和预报。

〔出处〕摘自小学教科书《国语 五上》(光村图书出版)



第 26 課 植物のにおい

岩波洋造

植物には、それぞれ固有のにおいがある。中でも、ワサビ・ニンニク・ニラ・シソ・レモンなどは、特に強いにおいを持っている。いろいろな生物の本を調べてみると、植物のにおいの中で、花のかおりについては、「昆虫を呼び寄せて、花粉をおしべからめしべに運ばせるのに役立つ。」と説明されている。しかし、葉や茎、根や実から出るにおいの役割については、ほとんど書かれてはいない。植物が体から出すにおいには、どんな働きがあるのだろうか。そのことを確かめるために、次のような実験を試してみた。

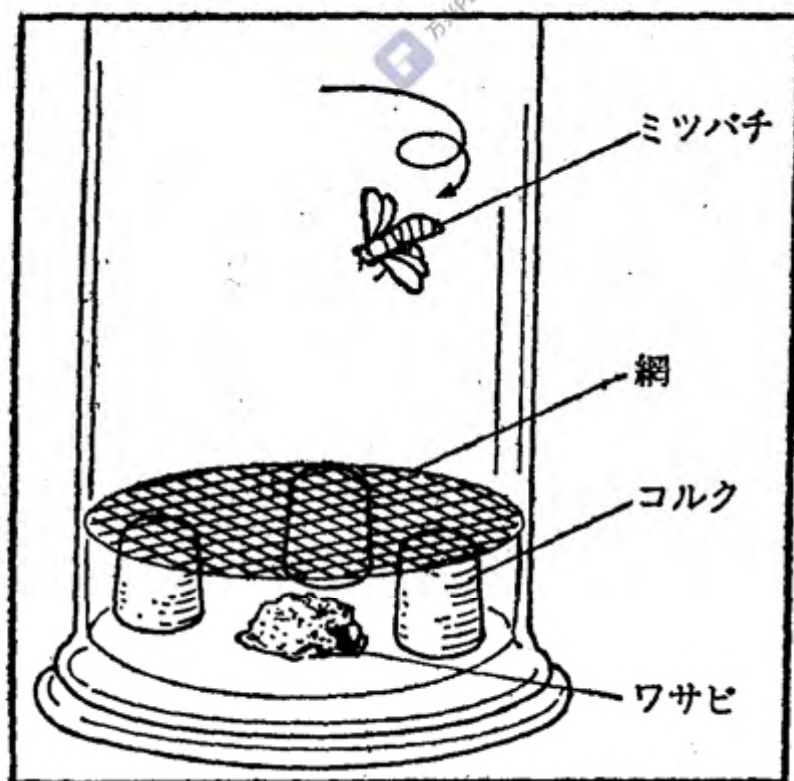
まず、二つの管瓶を用意し、一方の管瓶には、食パンだけをを入れて密封した。もう一方の管瓶には、食パンとともに、少量のおろしワサビ（2グラム）を入れて密封した。そして、摂氏25度の部屋の中で観察を続けた。すると、何も入れていない管瓶の中の食パンには、3日目ごろから、いろいろな色のかびが生えてきたが、ワサビを入れた管瓶の中の食パンには、10日たっても20日たっても、かびは生えなかった。

ワサビの代わりに、同量のニンニクのおろしたのや2, 3ミリメートルの大きさに刻んだニラの葉を使って

第26課

みたが、やはりかびは生えなかった。

次に3本のガラスのシリンダー（500ミリリットル）の底に、それぞれ、おろしワサビ、おろしニンニク、レモンの皮の切片を置き、その上に網を敷いてから、ミツバチを入れてみた。ふたをして行動を観察すると、植物を置かない時は、2時間たっても元気に飛んだりはい回ったりしていたミツバチが、おろしワサビ（5グラム）のシリンダーの中では、1分後にはもう飛ぶ力を失って網の上に落ち、2分後にはひっくり返って動かなくなった。同量のニンニクの場合は5分、レモンの皮の場合は



14, 5 分後に, ミツバチは完全に動く力を失った。

これらの実験結果からみると, かびの繁殖を抑えたり, ミツバチの運動能力を失わせたりしている原因は, 植物のにおいにあるようだ。

だが, ほかに原因が考えられる。それは, 植物の切片が呼吸をしているため, シリンダーの中の酸素が不足するのではないかということである。このことを調べるため, 植物を入れたシリンダー内の網の上に, 脱臭作用を持つ活性炭をガーゼに包んで載せておいた。すると, ミツバチは, 植物を入れない時と同じように, いつまでも元気に動いていた。これで, ミツバチが動けなくなった原因は酸素の不足ではなく, 植物のにおいにあることがはっきりした。また, かびの繁殖についても同じことが確かめられた。

その後, これらの植物のにおいは, 他の小さな動物たち, 例えばハエ・ゴキブリ・イモリ・ネズミなどにも, 影響を与えることが確かめられた。また, シソ・ダイコン・タマネギ・スギなどのにおいも, かびの繁殖を抑えたり, 小動物を弱らせたりする作用を持つことがわかった。

さらに, 植物のにおいは, 他の植物の生長にも影響を与えることがわかってきた。発芽したばかりのモヤシマメを, タマネギやニンニクのにおいのする所に置くと, まっすぐ伸びなくなったり, 生長が止まったりした。ま

第26課

た、生長中のツバキの花粉に、タマネギのにおいを当てると、生長が完全に止まったあと、花粉管の先端が風船のように膨れてきた。これは、ちょうど花粉が大量の放射線を浴びた時の状態とよく似ていた。

植物は、太陽の光を用いて、自分でデンプンなどの栄養分を合成しているので、動物のように他の生物を食べる必要はない。しかし、自分の体を食べに来る動物からは身を守る必要がある。植物を食べに来た動物は、その植物の周りに自分の害になるようなにおいが立ちこめっていると、敬遠して逃げ出すだろう。無理に植物の体に食いついたりすると、強いにおいの作用で動けなくなってしまう。また、枝が折れたり葉がちぎれたりした時、においは、傷口から侵入しようとする細菌類を撃退する役割を果たす。さらに、その植物が生長するために、周りに生える他の植物が繁殖するのを抑えるのにも役立つ。植物のにおいは、彼らが進化の過程で身に付けた、自衛のための武器の一種だったのである。

このような作用を持つ植物のにおいを、人間の病気の治療や予防、食品の保存に活用できないだろうか。しかし、そう考えるまでもなく、人間は昔から、においを生活の中で利用してきた。ゆず湯やしょうぶ湯は、体に良いと言い伝えられている。笹餅、ちまき、桜餅などは、においを食品の保存に利用した例であろう。また、刺し身にワサビ・シソ・ダイコンを添えるのも、風味を味わ

第 26 课

うとともに、植物のにおいを殺菌や防腐に役立ててきた、生活の知恵であると考えられる。

〔作者〕 岩波洋造(いわなみようぞう)

1926年生于长野县。植物学家。著有《光合成的世界》
《花和花粉的世界》《教室里学不到的植物的故事》。

〔出处〕 选自中学国语教科书《国语 I》(光村图书出版)



第 27 課 案内状の書き方

日本に留学している世界各国の留学生が、協力して音楽会を開くことになりました。王さんは、この「留学生音楽フェスティバル」の実行委員会のメンバーで、フェスティバルの案内状を作る係になりました。そこで、案内状の書き方について、鈴木先生に相談しました。

＊

王：先生、少し教えていただきたいんですが。

鈴木：どんなことですか。

王：今度、「留学生音楽フェスティバル」の案内状を作ることになったんですが、案内状というのはどのように書いたらいいんでしょうか。

鈴木：案内状のような手紙の場合は、ある程度決まった形式がありますから。その形式を踏まえて書けば、それほど難しくはありませんよ。

王：何か参考になるようなものはないでしょうか。

鈴木：ちょうど今、わたしのところに2通の案内状がありますよ。講演会と展示会の案内ですがね。

王：ちょっと見せていただけませんか。

鈴木：ええ、どうぞ。これです。

第 27 課

「国語・国文学会50周年記念講演会」のお知らせ

謹啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます
さて、国語・国文学会も、発足以来、ここにめでたく
50周年を迎える運びとなりました。つきましては、50周
年記念行事の一つといたしまして、海外、特にアジア地
域の日本語および日本文学研究者を招き、下記の要領
で、講演会と懇親会を催したいと存じます。

御多忙とは存じますが、なにとぞ御出席くださいます
ようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 日時 1989年 3 月15日
午後 1 時～午後 5 時（講演会）
午後 5 時～午後 7 時（懇親会）
2. 場所 国際文化研究所 講堂
3. 懇親会参加費用 3000円

1989年 2 月 1 日

国語・国文学会50周年記念行事实行委員会

鈴木一郎先生

なお、御参加の有無を、来たる 2 月28日までに、同封
のはがきにてお知らせください。

1989年2月20日

鈴木一郎先生

東京都港区西麻布12-3-24

財団法人 国際教育機器普及協会

「世界の教育機器・教材フェア」開催のお知らせ

拝啓 日一日と春めいてくるこのごろ、皆様には御健勝のことと拝察申し上げます。

さて、このたび、当協会では、世界各国の優れた教育用機器ならびに教材を一堂に集め、「世界の教育機器・教材フェア」を開催することとなりました。

幼児教育用の機器から、高度なコンピュータ技術を駆使した科学実験用機器まで、幅広く展示するとともに、世界各国のユニークなテキスト類、文房具類も合わせて展示即売いたします。

この機会にぜひ御高覧いただき、教育現場にお役立てくださいますよう御案内申し上げます。 敬具

記

1. 日時 1989年3月1日より3月20日まで
午前10時～午後5時
2. 場所 東京晴海国際見本市第5会場

第 28 課 腕時計

.....

田中：すみません。腕時計がほしいんですが。

店員：はい，こちらに紳士用の腕時計がございます。

田中：ずいぶんありますね。どれがいいかな。

店員：そうですね。こちらのデジタル時計などいかがでしょうか。時刻とカレンダーが表示されて，見やすいですし，アラームの機能も付いております。

田中：ボタンが3つありますね。取り扱いが面倒じゃないですか。

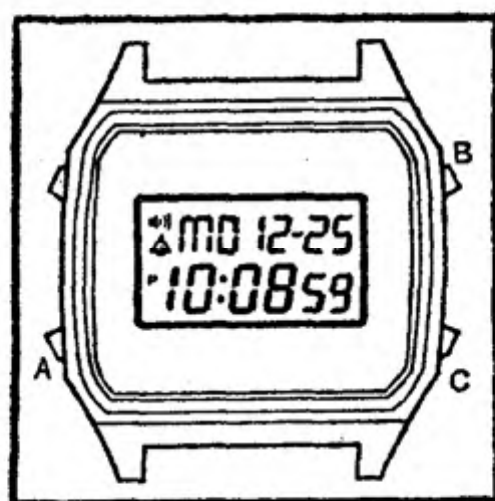
店員：いえ，決してそんなことはございません。使い慣れるととても便利ですよ。

田中：そうですか。じゃあ，それをください。

.....

* 取り扱い説明書

この時計は，右の図のように，時刻とカレンダーが一括して表示されるほか，アラームの機能もあります。Aが表示の切り替えのボタンです。Aのボタンを押すたびに，アラーム，時刻合わせと表示が



第 28 課

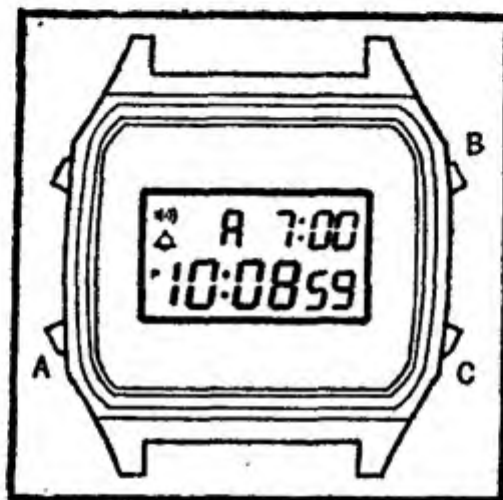
変わります。

以下にそれぞれの機能を説明しましょう。

〔アラーム〕

あらかじめ設定した時刻を音で知らせる、アラームの機能があります。

A のボタンを一度押すと、カレンダーの表示がアラームの表示に変わります。アラームの時刻を修正したい時は、B のボタンを押してください。



B は修正する箇所を選択するボタンです。一度押すと、時の単位の数字が点滅し、もう一度押すと、分の単位の数字が点滅します。

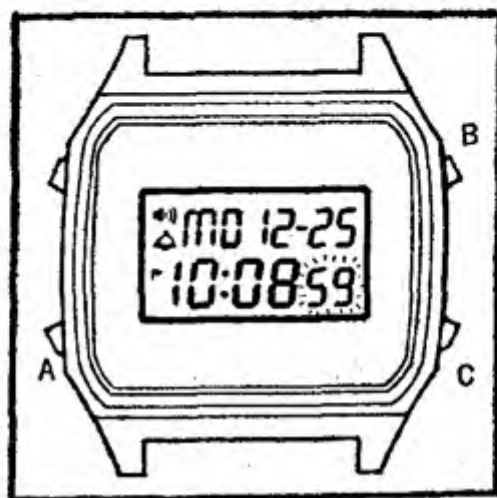
B のボタンで修正したい箇所を選んだら、今度はC のボタンを押して、数字を変えます。C は、数字を変えるボタンで、押すたびに数字が一つずつ進み、押し続けると数字が早く進みます。

時刻を設定したら、B とC のボタンを同時に押してください。そうすれば、アラームがセットされます。アラームを解除したい時は、もう一度B とC のボタンを同時に押してください。鳴っているアラームを止めたい時は、A B C いずれかのボタンを押してください。どのボタンでもかまいません。ボタンを押さなければ、アラーム

ムは20秒間鳴り続けます。

〔時刻合わせ〕

時刻やカレンダーを修正したい時は、Aのボタンをもう一度押してください。そうすると、秒の単位が点滅します。次にBのボタンを押して修正したい箇所を選択します。



Bのボタンを押すたびに点滅する箇所が、秒から、分、時、曜日、月、日と変わります。修正する箇所を選択したら、Cのボタンを操作して数字を変えます。

以上がこの時計の取り扱いの要領ですが、ボタンの操作を間違えても壊れる心配はありません。また、防水加工を施しておりますので、時計をしたまま水に入ってもだいじょうぶです。落としたり強くぶついたりしない限り、壊れることはありませんし、狂うこともありません。ただし、温度の高い所や、逆に温度の低い所に長時間置くことは避けてください。表示が不鮮明になったり、数字の変わり方が遅くなったりする恐れがあります。

なお、この時計の保証期間は2年間です。保証期間中の修理は、原則として無料ですので、取り扱い店にご相談ください。

第29課

第29課 都市の住宅事情

(1)

「日本人はうさぎ小屋に住んでいる。」

これは、EC（ヨーロッパ共同体）が日本についてまとめた報告書にあった言葉だ。この言葉を聞いた時は、さすがに「いくら日本の住宅が狭いからといっても、そこまで言うことはないだろう。」と、腹を立てた人が多かった。けれども、日本の住宅事情の悪さを、あらためて認識させられたことも事実である。

現在も日本の住宅事情はほとんど変わらない。特に、大都市は相変わらずの住宅難だ。都会では自分の家を持つことがそもそも難しい。

「アパートや借家の家賃を払うのに精いっぱい、とても自分の家を持つだけの経済的なゆとりがない。」というのが、都会で暮らす人たちの率直な感想だろう。

最近では、一戸建ての住宅よりも、分譲マンションなどの集合住宅を選ぶ人が増えているという。新しく家を建てられような土地が残っていないのだから、それもしかたがないことだろう。

もちろん、もっと広い家に住みたいと、だれもが切実に思っている。「庭付き一戸建ての家に住みたい。」とい

第 29 課

うのが、多くの人たちの夢だ。しかし、庭付きの家を買えば買ったで、困ることがある。庭付きの家が買えるような所は郊外しかないのです、それだけ交通の便が悪くなるからである。東京では、郊外の自宅から片道2時間くらいかけて都心の会社へ通勤しているサラリーマンは珍しくない。いくらマイホームを持ったといっても、毎日、満員電車で4時間も揺られて往復するのでは、通勤だけで疲れてしまうだろう。

このような住宅難は、都市に人口が極端に集中しているために起こる現象である。なにしろ1平方キロ当たり1万人以上という人口密度だから、都市の住宅が不足するのも当然である。

都市が人口の過密に悩まされている一方で、皮肉なことに、農村は過疎という現象に悩まされている。大都市に人口が集中するため、農村の人口が少なくなるという現象である。過疎化の激しい所では、一つの村そのものがなくなってしまった所すらある。

最近では、官庁や企業を都会ばかりに集めず、地方に分散させようという計画が真剣に検討されている。また、青年たちの意識が変わり、都会より農村で生活したいという青年が徐々に増えている。都市の過密と農村の過疎という矛盾に、多くの人気がつき始めた証拠だろう。

第29課

田中：やあ、吉田君。家を買ったんだって。おめでとう。

吉田：ありがとうございます。おかげさまで、なんとか自分の家を持つことができました。今度、ぜひ遊びに来てください。

田中：うん。そのうちにお祝いに伺うよ。ずいぶん立派なお宅だそうだね。

吉田：いえ、それほどでもないですよ。ただ、家を買うなら、庭があってゆったりした家がいいと思って選びましたから、広いことは広いんです。でも、郊外ですから、通勤するのがたいへんで…。

田中：会社まで、どれくらいかかるの。

吉田：2時間とちょっとです。だから、毎朝6時半には家を出なきゃならないんですよ。ちょっと朝寝坊でもしようものなら、確実に遅刻ですね。

田中：それじゃあ、睡眠不足になってしまうだろう。

吉田：ええ。最近はいつも眠くてしょうがないんです。でも、東京のサラリーマンは、みんな同じような苦勞をしてるわけですからね。しかたないですよ。

田中：そうだなあ。なるべく無理をしないで、休みの日はゆっくり寝るようにしたほうがいいね。せっかく家を買っても、体を壊したら、何にもならないからなあ。

第 30 課 日本人と魚

(1)

言葉というものは、生活と深いかかわりを持っている。

動物のラクダは、日本語では「ラクダ」という単語しかない。ところが、アラビア語には、同じラクダを指すのにも、「人が乗るためのラクダ」「荷物を運ぶためのラクダ」など、それぞれ違う単語があるという。砂漠に生きる人々にとってラクダは生活に欠かすことのできないものだから、それだけ言葉も細かく使い分けるようになったらしい。

では、日本語ではどうだろうか。そう考えた時、思い当たるのは魚である。

例えば、ブリという魚は、成長の段階に応じて、ハマチ・メジロなど、いくつか違った名前と呼ばれている。こうした細かい言葉の使い分けがあるのは、魚と日本人の生活との間に深いかかわりがあるからだろう。

日本は海に囲まれた国であり、昔から新鮮な魚に恵まれていた。寿司や刺し身のように、魚を生そのまま食べる習慣があるのも、それだけ新鮮な魚がたくさん取れたからにはほかならない。魚は日本人の生活に欠かすことので

第30課

きないものだったのである。

ところが、最近、日本人にとって魚はそれほどなじみ深いものでなくなってきたようだ。台所を預かる主婦の間でさえ、「魚の名前を聞いてもそれがどんな魚なのかわからない。」と言う人が増えている。

こうした「魚ばなれ」の原因の一つは、魚屋や八百屋よりも、スーパー・マーケットで買い物をする主婦が増えたことにある。スーパー・マーケットでは、たいてい、冷凍で保存した魚を刺し身や切り身にし、1人前とか4人前とか、パックにして売っている。最初から切り身にしてある魚からは、とうてい泳いでいる魚の姿など思い浮かべることはできないだろう。むだがなくて簡単に食べられるのはいいが、調理の手間を省いたために、魚に対する主婦の関心や知識まで奪ってしまったのである。

大人でさえ知らないのだから、まして子供ならなおさらである。サケの切り身しか見たことがない都会の小学生が、実物のサケを見て驚いたという話がある。まさか切り身がそのまま泳いでいるとは思っていなかっただろうが、笑うに笑えない話である。

この調子では、日本人は今に、ブリとハマチの区別どころか、どんな魚も区別がつかなくなってしまうのではないだろうか。日本の伝統的な食文化が破壊されつつあると言っても、決して大げさではあるまい。

(2)

山田：昨日、テレビで「奥様教養クイズ」という番組を見てたんだけど、世の中の主婦が、あんなに無知だとは思わなかったね。あきれちゃったよ。

王：あら，どんなクイズだったの。

山田：魚を見せて，その名前を答えさせるクイズなんだけど，ほとんどの主婦が答えられないんだ。毎日買い物をしていれば，魚の名前くらい自然に覚えそうなものなのになあ。

佐藤：そのクイズならわたしも見てたわ。でも，主婦が魚の名前を知らないのも無理ないんじゃないかしら。スーパー・マーケットで毎日買い物をしてても，魚の知識なんか身に付かないと思うわ。

王：だけど，日本は世界一たくさん魚を食べる国だって聞いたことがあるわ。それなのに，魚の名前を知らないなんて，おかしい気もするわね。

山田：そうだろ。これは日本の食文化の崩壊だよ。

佐藤：まあ，大げさね。山田君がいくら怒ったところで，しかたないでしょう。それなら，日本の食文化を守るために，山田君が主婦になったらどう。

山田：いや，ぼくはもっぱら寿司や刺し身を食べることで，日本の食文化を守ろうと思ってるんだ。

第31課

第31課 山国の春，北国の春

倉嶋 厚

手紙の文例集などに時候のあいさつの「決まり文句」が列記されています。その中から春のあいさつのいくつかを拾い出してみました。

2月 余寒なお厳しき折から，立春とは名ばかりで

3月 早春の候，寒さもようやくゆるみ，菜の花は今が盛り

4月 春たけなわ，野も山も花の春，陽（晩）春の候

5月 風薫る五月，新緑の目にしみる昨今，惜春の候
これを見ると，日本の季節変化が短い言葉でうまく表現されているのに，あらためて感心してしまいます。しかし，これらは東京，大阪など日本の真ん中辺りの地域に当てはまる表現です。細長い日本列島の北と南では，春の季節感はずいぶん違うはずです。その辺のところを，気候表の数字で裏づけてみましょう。

気温は月の初めと終わりや一日の昼と夜で異なり，年によっても変動しますが，この表の値は，長年にわたって，それらの一切を平均したものです。月平均気温の平年値は，その月の15日ごろの日平均気温の平年値とだいたい同じです。

○各地の月平均気温の平年値 (°C)

月	地点	那覇	鹿児島	東京	札幌	軽井沢
1		16.0	7.0	4.7	-4.9	-3.8
2		16.4	8.2	5.4	-4.2	-3.4
3		18.0	11.2	8.4	-0.4	-0.5
4		21.0	16.1	13.9	6.2	6.3
5		23.7	19.8	18.4	12.0	11.5
6		26.1	23.0	21.5	15.9	15.3

そんな目で、この表を見ると、各地の季節のズレの見当がつかます。例えば東京の4月中ごろの気温は、鹿児島の3月末か4月初めごろと同じで季節差は15日ぐらいです。そして札幌の4月中ごろの気温は、東京の3月初めごろの気温で、季節差は40日程度ということがわかります。つまり札幌と鹿児島とでは2か月のズレがあることになります。

もう、だいぶ前のことになりますが、東京から札幌に転勤した時のことです。東京をたつ前夜は、住居の近くの桜並木は夜目にも白い花明かりで、暖かいそよ風がほおをなでていたのですが、翌日の千歳空港は横なぐりの吹雪で、札幌の街路樹はまだ冬木立でした。お花見をしたのは40日後の5月中旬のことでした。

それから数年後に、今度は、やはり花の都を後にして鹿児島に着任しました。その時は、桜はすでに散っており、初夏を思わせる日差しを浴びてクスの若葉が輝き、真っ赤なツツジの花が新緑の中に燃え始めていました。

第 31 課

降水量が適当にある地域について、気候表の月平均気温から自然界の様子を知るおおまかな目安を記しておきましょう。

〔0度以下〕 土壤水分は凍結しており、植物の生活は停止している。一面の雪景色。

〔0度～5度〕 雪が降ったり、冷たい雨が降ったり。春は時折の雪解け、泥んこ道の季節。秋は木々は落葉しており、平野には積雪が現れたり消えたり。山は完全な積雪。

〔5度～10度〕 春はまだ枯木立が多いが、枝に緑の芽が見え、早春の花が咲き始める。秋は完全紅葉から落葉まで。

〔10度～15度〕 春は木々の花の咲き始めから新緑まで。秋は木々の葉の色づき始めから完全紅葉まで。雨が降れば寒く感じる。

〔15度～20度〕 新緑から濃緑へ。東京で言えば5月と10月の平均気温。湿度が適当で青空ならば、このうえなくさわやかで明るい季節。ヨーロッパの夏の平均気温。

〔20度～25度〕 梅雨どきと秋の長雨のころの平均気温。蒸し暑さを感じる。

〔25度以上〕 日本人が盛夏と感じる平均気温。真夏日、熱帯夜が現れる。

軽井沢の測候所の高さは999メートルです。その高さ

第 31 课

ゆえに、東京からそれほど遠くはないのに、気温は約800キロメートル北の平野の札幌の気温と同じになっているのです。気温は普通、高さ1000メートルにつき、約6度の割合で下がります。東京付近では春の気温6度の差は約40日の季節差に相当します。

表の数字から気がつくもう一つの点は、山国や北国の春のテンポの速さです。3月から5月にかけての気温の上昇幅は、那覇5.7度、鹿児島8.6度、東京10.0度、札幌12.4度、軽井沢12.0度と、北ほど、また高い所ほど大きくなっています。北国や山国の春は遅いけれども、はじけるように始まるのです。

〔作者〕 倉嶋 厚（くらしまあつし）

1924年生于长野县。担任解说节目的播音员。著作有《季节笔记》《生活气象学》《人生气象图阴转晴》等。

〔出处〕 选自《气象博士的季节旅行》（广济堂出版）

第 32 課 ツバメ

金井 裕

(1)

日本野鳥の会へ、今続々と「ツバメが巣に帰って来ました。」という情報が寄せられている。

だれでもが知っている野鳥と言えば、スズメとカラスの次に来るのがこのツバメであろう。特にスズメとツバメは、人の住んでいない所にはいないと言うぐらい、人間とのかかわりが大きい鳥である。

どうしてこのような習性を持つようになったのか、よくわかっていないのだが、巣の安全性と関係があると言われている。普通の鳥は、人間を外敵とみなして近寄らないようにしている。ところが、この2種は人間を、巣を襲うイタチや蛇などの外敵を防ぐものとして利用していると言うのである。人家周辺は、確かに人以外は簡単には近づけないので、もっともな説である。

しかし、この2種、人との付き合い方という点では、大きな違いがある。

スズメは、人をかなりの危険な動物とみなしているようで、エサ台に最初に来るくせに、人の動きにつねに気を配り、いち早く逃げる。巣ももちろん人の手の届かない場所に作る。

第 32 課

ツバメは、人のことを信頼しきっているようなところがある。手の届く軒下に巣を掛けるし、場合によっては、家の中に巣があることさえある。朝、戸を開けると活動を開始し、ツバメが戻ったあとで戸締まりをする。こうなると家族の一員と言ってもよい。

ツバメは、また、にぎやかな所を好む。家なら人が出入りをする玄関に、町の中全体を見回すと、商店街の表通りに面した所に巣があることが多い。人の目があるほど安全ということなのだろう。

これほど人との結び付きの強いツバメでも、大都会となると話はちょっと違ってくる。コンクリート・ジャングルでは、巣を作ろうにも材料の土がない。どうにかビルや道路の工事現場で調達したとしても、補強材となる枯れ草が見つからない。やむをえず、土だけで作った巣は、卵やヒナの重みに耐えきれないでよく落ちる。

都会では、食べ物や水を探すのもたいへんである。ツバメはチョウやトンボなどの空中を飛んでいる虫を食べるのだが、緑の乏しい所では、育ち盛りのヒナにじゅうぶんな量を集めることはできない。公園には、食べ物を求めてこんなツバメがたくさん集まって来ている。

人との結び付きの最も強い鳥が住みにくい所は、人間にとってはどうなのか。あなたの町のツバメは、どんな生活をしているかに目を向けることから見えてくるかもしれない。食べているもの、食べ物を探している場所、

第32課

水はどこで調達しているか。こんなところからツバメの目からあなたの町がどのように見えるかわかるであろう。

(毎日中学生新聞より)

(2)

山田: もうすっかり春だね。おや, ツバメが飛んでる。

佐藤: ほんと。もうツバメが帰ってくる季節なのね。

山田: ツバメの姿を見ると, 本当に「暖かくなったんだなあ。」って感じるなあ。

佐藤: そうね。そう言えば, わたしが子供のころは, 家の軒下にツバメの巣があったわ。

山田: へえ, そう。ツバメって, 毎年同じ巣に戻って来るんだらう。

佐藤: そうなの。だから, まるで家族みたいに思ってたのよ。でも, 最近はツバメの巣をあまり見かけないわね。やっぱり都会は住みにくいのかしら。

山田: 都会はどんどん緑が少なくなっているから, もっと緑の多いなかの方へ, ツバメが引っ越して行くのかもしれないね。

佐藤: なんだか寂しいわ。都会にもっと緑を増やして, いろいろな鳥や動物たちが住めるようになったらいいのに。

山田: でも, 都会にもまだまだ緑が残っているよ。そう

第 32 课

だ。佐藤さん，散歩のついでにバードウォッチングをしてみようよ。

〔作者〕 金井 裕（かないゆたか）

1955年生于东京。是财团法人日本野鸟会会员，日本野鸟会保护部保护计划室主任研究员。

〔出处〕 摘自《每日中学生报》（每日新闻社）



第 33 課 先端技術と伝統文化

(1)

科学の進歩によってもたらされた新しい技術が、今、人間の生活を大きく変えようとしている。コンピュータや産業用ロボットが広く利用され、また、太陽の光や地熱を新しいエネルギー源として開発する計画も進められている。さらに、生物の遺伝子や細胞を人工的に操作するバイオテクノロジーの技術も注目を集めている。これらの新しい技術は、今後ますます発展し、さまざまな産業のあり方を大きく変えずにはおかないだろう。

これらの科学技術は、一般に「先端技術」と呼ばれている。ただし、先端技術と言うと、何かまったく新しい技術のように思われがちだが、必ずしもそうではない。最新の技術でありながら、その中に、これまで人間が培ってきた伝統的な文化や技術が生かされている場合も多いのである。

例えば、最近新しい素材として脚光を浴びているニューセラミックスというものがある。セラミックスとは、陶磁器やガラス、レンガなど、熱処理をして作った固体の材料のことである。だから、ニューセラミックスとは、要するに新しい陶磁器だと考えればいい。

第 33 課

もともと陶磁器は、素材として、熱に強く、しかも腐蝕しないという特性を持っていた。ほかの素材、例えば鉄やプラスチックなどに比べると、これは大きな長所である。鉄はさびるし、プラスチックは熱に弱く、すぐ溶けてしまう。ただ、陶磁器には、熱に強くさびないという長所がある反面、壊れやすく加工しにくいという欠点があった。そこで、陶磁器の長所を生かしたまま、強く加工しやすい素材ができないものか、という発想で生み出されたのが、ニューセラミックスである。

陶磁器は石の粉と粘土を混ぜて焼いたものだが、ニューセラミックスは酸化アルミニウムなどの精製された人工原料を混ぜて焼き固める。そのようにして作られたニューセラミックスは、ダイヤモンドに匹敵するほど硬く、精密機械の部品として使えるほど、細かい加工を施すことができる。

ニューセラミックスと言えば、宇宙船の外壁に利用されたのが有名だ。空気との摩擦によって宇宙船の外壁は1000度にも達するが、ニューセラミックスはその高熱にじゅうぶん耐えられるのである。熱に強くかつ軽いという性質を生かして、自動車エンジンをニューセラミックスで作る研究も進んでいる。さらに、腐蝕せず、人間の体になじみやすいことから、人工の骨や関節などを作る材料にも使われている。

ニューセラミックスは、最新の科学的な知識と人間が

伝統的に培ってきた知恵との融合だと言えるだろう。古くからの陶磁器の技術が、姿を変えて、宇宙時代を支える重要な技術として生かされているのはたいへん興味深いことである。

(2)

張：林先生は、バイオテクノロジーについてお詳しいと伺いましたので、お教えいただきたいと思います。まず、バイオテクノロジーとは何かということですが、文字どおり日本語にすると「生物技術」ですね。

林：ええ。もっと厳密に定義すると、生物を利用して物質を生産する技術だと言えます。例えば、大腸菌という細菌を利用して、インシュリンを作るとか……。

張：インシュリンと言うと、糖尿病の薬ですか。

林：そうです。以前は、糖尿病の薬として牛のインシュリンを使っていたんですが、大量生産できないうえに、牛のインシュリンを受け付けない人もいました。ですから、人のインシュリンを大量生産する方法が研究されていたんですが、人間の遺伝子を大腸菌に入れることによって、それが可能になったんです。

張：人間の遺伝子を大腸菌に入れると言いますと……。

第33課

林：つまり，インシュリンを作るという情報を持った人間の遺伝子を取り出して，大腸菌に植えつけるわけですね。現代では，人間の手で，ある程度遺伝子を操作できるようになりましたから。

張：遺伝子を操作するなんて，まるで神様のようなことまで，人間はできるようになったんですね。

林：確かにたいへんな進歩ですね。でも，考えてみれば，人間は大昔から生物を利用して物を作ってきましたからね。例えば，イースト菌を使ってパンを作るとか，酒や味噌や醤油なども微生物の働きを利用したものでしょう。理屈は同じですよ。

張：伝統的な技術と共通する面があるわけですか。

林：ええ，おおいにありますね。そうした伝統的な技術に遺伝子操作という最新の技術が加わって，バイオテクノロジーが生まれたと言ってもいいでしょう。

張：なるほど。ところで，バイオテクノロジーはどんな分野で利用されているんですか。

林：今のところ，医療や農業の分野ですね。でも，将来は応用範囲がぐっと広がるでしょうね。

張：そうですか。バイオテクノロジーに，多くの人が期待を寄せているわけですね。どうも，おもしろいお話をありがとうございました。

第34課 新発明のマクラ

星 新一

「さあ、やっと大発明が完成したぞ。」

小さな研究室の中で、エフ博士は大声を上げた。それを耳にして、おとなりの家の主人がやって来て聞いた。

「何を発明なさったのですか。見たところ、マクラのようですが。」

そばの机の上に大事そうに置いてある品は、大きさといい形といい、マクラによく似ていた。

「確かに、眠る時に頭をのせるためのものだ。しかし、ただのマクラではない。」

と、博士は中を開けて指さした。電池や電気部品が、ぎっしりと詰まっている。おとなりの主人は目を丸くして質問した。

「すごいものですね。これを使うと、すばらしい夢でも見られるのでしょうか。」

「いや、もっと役に立つものだ。眠っていて勉強ができるしかけ。つまり、マクラの中に蓄えてある知識が、電磁波の作用によって、眠っているあいだに頭の中に送り込まれるというわけだ。」

「なんだか便利そうなお話ですが、それで、どんな勉強ができるのですか。」

第34課

「これはまだ試作品だから、英語だけだ。眠っているうちに、英語が話せるようになる。しかし、改良を加えれば、どんな学問でも同じことになるだろう。」

「驚くべき発明ではありませんか。どんな怠け者でも、夜、これをマクラにして寝ていさえすれば、何でも身に付いてしまうのですね。」

おとなりの主人は、ますます感心した。博士は得意げにうなずいて答えた。

「その通りだ。近ごろは努力をしない人が多い。そんな人たちが買いたがるだろう。おかげで、わたしも大もうけができる。」

「効き目が本当にあるのでしたら、だれもが欲しがるに決まっていますよ。」

「もちろん、効き目はあるはずだ。」

おとなりの主人は、それを聞きとがめた。

「とおっしゃると、まだ確かめてないのですか。」

「ああ、わたしはこの研究に熱中し、そして完成した。しかし、考えてみると、わたしはすでに英語ができる。だから、自分で試してみることができないのだ。」

と、博士は少し困ったような顔になった。おとなりの主人は、恥ずかしそうに身を乗り出して言った。

「それなら、わたしに使わせてください。勉強はいやだが、英語がうまくなりたいと思っていたところです。ぜひ、お願いします。」

第 34 課

「いいとも。やれやれ、こうすぐに希望者が現れるとは思わなかった。」

「どれくらいかかるのでしょうか。」

「1か月ぐらいで、かなり上達するはずだ。」

「ありがとうございます。」

と、おとなりの主人は、新発明のマクラを持って、うれしそうに帰って行った。しかし、2か月ほどたつと、つまらなそうな顔で、エフ博士にマクラを返しに来た。

「あれから、ずっと使ってみましたが、いっこうに英語が話せるようになりません。もうやめます。」

博士は中を調べ、つぶやいた。

「おかしいな。故障はしていない。どこかが間違っていたのだろうか。」

だが、効き目がなければ使い物にならない。せっかくの発明もだめだったようだ。それからしばらくして、エフ博士は道でおとなりの女の子に会い、声をかけた。

「その後、お父さんはお元気かね。」

「ええ。だけど、ちょっと変なこともあるわ。このごろ、寝言を英語で言うのよ。今まで、こんなことなかったのに、どうしたのかしら。」

眠っているあいだの勉強が役に立つのは、やはり、眠っている時だけなのだった。

第34课

〔作者〕 星 新一(ほししんいち)

1926年生于东京。作家。从1961年发表第一部短篇集以来，创作的短篇已超过一千。作品集有《来自地球的人》《爱管闲事的神仙们》《勃克》等。

〔出处〕 本篇选自《任性的机器人》(角川书店)。



第 35 課 日本人と仕事

張：昨日の夕刊の記事，読んだかい。アメリカ人の84パーセントが自分の仕事に誇りを持っていると答えたのに対して，日本人で同じように答えた人が何人いたと思う。たった37パーセントだよ。



山田：そんなことがあるもんか。だって，日本人は勤勉すぎるって，欧米の批判を受けてるくらいだよ。

田中：確かに，山田君の言うとおりでね。でも，あのアンケートの結果も，まんざら事実と違うとは言いきれないね。

王：それは，どういうことですか。

田中：つまりね，同じアンケートの質問に答えるにしても，失業率の高いアメリカと，ごく低い日本とでは，ずいぶん状況が違う。職業に対する誇り，とひとことで言っても，とらえ方が違って当然だね。

張：なるほど，それもそうですね。でも，以前は働きバチにたとえられた日本人の職業観も，ずいぶん変わったみたいですね。

第 35 課

佐藤：本当ね。今じゃあ、仕事を離れた自分の時間を、大切にしている人が多いわ。仕事に明け暮れないで、趣味を広く持つことを、国が奨励しているくらいですものね。

山田：それだけ日本が豊かになったっていうことかな。でも、皮肉だね。この豊かな社会の地盤を作ってくれたのは、働きバチと呼ばれた人たちなんだからね。



張：でも、外国人のぼくから見たら、今でも日本人はよく働いているよ。いろんな日本の企業を見ただけで、機械化の進歩以上に驚いたなあ。

王：わたしは女だから、どうしても、張さんとは見方が違ってくるけど、わたしがいちばん驚いたのは、仕事に対する女性の意識ね。

佐藤：どんなところ。

王：つまりね。中国と違って、必ずしも全員が仕事を持たなくてもいいわけでしょう。特に、若い女性は、はっきり2通りのタイプに分かれているように思うの。社会に出て、男性に負けないくらい、張り切って仕事をする人と、家庭で家事に専念することを希望している人との



.....。

第35課

佐藤：王さんはさすがに女性だけあって、見方が鋭いわ。その通りなのよ。でも、家事に専念したいという人が多いのは、今の社会のあり方にも原因があると思うわ。日本の社会は、まだまだ男性中心で、女性はなかなか自分の思いどおりの仕事に就けないのが現実ですもの。

山田：それは、何も女性に限ったことじゃないさ。男のぼくたちにしたって、もう学歴だけで好きな仕事に就ける時代じゃないよ。男だろうが、女だろうが、条件はあまり変わらないんじゃないか。

田中：佐藤さんは、どうなのかな。王さんの言うどちらのタイプかな。

佐藤：わたしは、もちろん社会に出て、自分の能力を思い切り試したいですわ。結婚したあとも、相手の人が賛成してくれたら、続けていきたいです。



山田：だけど、仕事と家事の両立は簡単じゃあないよ。日本の多くの男は、結婚するとすれば、しっかり家庭を守ってくれる女性を望んでると思うな。

佐藤：まあ。山田君って、意外に古いのね。そんな人に、お嫁さんが来るかしら。

張：佐藤さん、そんなにむきになるなよ。まるで、将来の旦那様と言い争いしてるみたいだよ。

第35課

佐藤：張さんまで、からかわないでよ。今は、まじめなお話をしている最中よ。

田中：まあまあ、やめなさいよ。いずれにしても、みんな、これから進路を決めて、社会に出て行くんだ。人生の選択は、真剣に考えて考えすぎることはない。佐藤さんも、仕事を持つにせよ、専業主婦になるにせよ、自分が納得する道を進むのがいちばんじゃあないかな。

王：そうですね。自分が納得して決めるというのがいちばん大切ですよ。自分の人生なんですもの。

田中：そのとおりだよ。ただ、企業の中にいる人間として言わせてもらえば、今まで男性中心だった日本の社会も、かなり変わりつつあるね。女性ならではのアイデアやセンスをもっと取り入れたいと考える企業が増えているんだ。だから、これから、さまざまな仕事に女性の存在は欠かすことのできないものになってくると思うよ。



張：そうですか。それはいいことですね。職業に対する見方も変わってきたし、男性と女性の役割についても、見方がずいぶん変わってきたわけですね。

第 36 課 ミニヤコンカの奇跡

中国、四川省にあるミニヤコンカは標高 7556 メートル。青空に浮かぶその雄姿は、風にたてがみをなびかせる白馬にたとえられるほど、美しい山である。しかし、いつも美しい山だとは限らない。いったん天候が崩れると、それはたちまち荒々しい魔の山と化す。これまで、実に多くの登山家の命を奪ってきた恐るべき山である。

1982年春、7名の日本人登山隊がこのミニヤコンカに挑戦した。登山隊は、じゅうぶんに準備を整えたうえで、気圧の低い高山に体を慣らしながら、ミニヤコンカに挑んだ。そして、二人の隊員が、いよいよ頂上を目指すことになった。

二人は、順調に頂上へ近づいていった。しかし、頂上まであと50メートルを残すばかりとなったところで、突然天候が崩れた。二人の登頂を阻むかのように、風が雪を舞い散らし、ガスが視界を閉ざした。

二人は登頂を断念し、天候の静まるのを待って、下山することにした。しかし、天候はいっこうに回復する気配を見せなかった。雪洞で野営するうちに、食糧も尽き、疲労がしだいに二人の体をむしばんでいった。そのうえ、トランシーバーが凍りついて、ほかの隊員との連絡も絶たれてしまった。

第36課

二人は互いに励まし合いながら、下山の機会をうかがった。数日が経過して、わずかな晴れ間がのぞいた。この時だとばかりに、二人は氣力を振りしぼって山を下り始めた。

しかし、体力を消耗し尽くした二人の足は、思うように進まなかった。わずか1時間で登って来たところが、下りるのにまる1日もかかった。そのうちに胃が食べ物を受け付けなくなり、手足の先が凍傷のために感覚を失って動かなくなった。とうとう二人は力尽きて倒れ、二人のうち一人は永久に帰らない人となった。

だが、一人は、重傷を負いながらも、かろうじて一命を取り留めた。奇跡的な生還を果たしたその人の名は、松田宏也さんと言う。

松田さんが助かったのは、薬草を採りに来た4人のイ族の農民のおかげだった。海拔2940メートルまで下りてきた松田さんは、小川のほとりで倒れ、そのまま体を動かすこともできなかった。その時、松田さんの耳に人の話し声が聞こえ、目の前に何人かの人の顔が現れた。のちに、松田さんの母親が「生き神様」と呼ぶ、毛光荣さん、倪明全さん、毛紹均さん、倪紅軍さんの顔であった。

4人は、松田さんを近くの山小屋まで運び、火を起こして温かい塩水を飲ませ、介抱した。そして、倪明全さんと毛光荣さんの二人が、すぐに山を下りて公社に報告した。この急報を受けて、100人以上の救助隊が出動し

第36課

た。そして、100キロの山道を一昼夜休まず松田さんを移送し、磨西の病院に担ぎ込んだ。

62キロあった松田さんの体重は、病院に担ぎ込まれた時、32キロしかなかった。さらに、診断の結果、両手両足の凍傷のほか、全部で16もの病名が付けられた。まさに瀕死の状態であったのだ。早速手術が行われたが、この敏速な処置が、死の淵をさまよっていた松田さんをよみがえらせたのである。

松田さんが助かったのは、奇跡というほかはなかった。もし、4人の一族の農民に巡り会わなかったとしたら、また、多くの人たちの敏速で献身的な行動がなかったとしたら、松田さんは間違いなく命を落としていただろう。

その後、松田さんは、成都の四川医学院付属病院に運ばれ、無償の手厚い治療と看護を受けて、日本に帰国できるまでに回復した。

今、松田さんは社会復帰を果たし、元気に暮らしている。両手の指と両足を失った松田さんだが、義足がその体をしっかりと支えている。そして、同時に、中国のたくさんの人たちの愛情が、その心を強く支えているのである。

第 37 課 小さな出来事

魯 迅作

竹内好訳

私がいなかから北京へ来て、またたく間に6年になる。その間、耳に聞き目に見た国家の大事なるものは、数えてみれば相当あった。だが私の心にすべて何の痕跡も残していない。もしその影響を指摘せよ、と言われたら、せいぜい私の癩癧を募らせたただけだ——もっと率直に言うと、日増しに私を人間不信に陥らせたただけだ、と答えるほかない。

ただ一つの小さな出来事だけが、私にとって意義があり、私を癩癧から引き離してくれる。今でも私はそれが忘れられない。

それは、民国6年の冬、ひどい北風が吹きまくっている日のことである。私は生活の必要から、朝早く外出しなければならなかった。ほとんど人っ子一人歩いていなかった。ようやく人力車を1台つかまえ、S門まで行くように命じた。しばらくすると北風がいくらか小やみになった。路上のほこりはすっかり吹き清められて、何もない大道だけが残し、車はいっそうスピードを増した。やがて門に行き着こうとするころ、不意に車のかじ棒に人が引っ掛かって、ゆっくり倒れた。

第 37 課

倒れたのは女だった。髪は白毛まじり、服はおんぼろだ。いきなり歩道から飛び出て、車の前を横切ろうとしたのだ。車夫はかじを切って道をあけたが、綿のはみ出た袖なしの上着にホックが掛けてなかったために、微風にあおられて広がり、それがかじ棒にかぶさったのだ。さいわい、車夫が早く車を止めたからよかったものの、そうでなかったら、ひっくり返って頭を割るほどの事故になったかもしれない。

女は地面に伏したままだし、車夫も足を止めてしまった。私は、その老婆がけがしたとは思えなかったし、ほかにだれも見ていないのだから、車夫のことを、おせっかいなやつだと思った。自分からいざこざを起こし、そのうえ私にも迷惑がかかる。そこで私は、「何ともないよ。やってくれ。」と言った。

しかし車夫は、耳も貸さずに——聞こえなかったのかもしれないが——かじ棒を下ろして、老婆をゆっくり助け起こし、腕を支えて立たせてやった。そして尋ねた。「どうしたね。」

「けがしたんだよ。」

私は思った。おまえさんがゆっくり倒れるところを、この目で見たんだぞ。けがなどするものか。狂言に決まってる。実に憎いやつだ。車夫も車夫だ。おせっかいの度が過ぎる。それほど事を構えたいなら、よし、どうと

も勝手にしろ。

ところが車夫は、老婆の言うことを聞くと、少しもためらわずに、その腕を支えたまま、ひと足ひと足歩き出した。私はけげんに思って前方を見ると、そこは派出所だった。大風のあととて、外は無人だった。車夫は老婆に肩を貸して、その派出所を目ざした。

この時ふと異様な感じが私をとらえた。ほこりまみれの車夫のうしろ姿が、急に大きくなった。しかも去るにしたがってますます大きくなり、仰がなければ見えないくらいになった。しかも彼は、私にとって一種の威圧めいたものにしだいに変わっていった。そしてついに、防寒服に隠されている私の「卑小」を絞り出さんばかりになった。

この時私の活力は、凍りついたように、車の上で身動きもせず、ものを考えもしなかった。やがて派出所から巡査が現れたので、ようやく車から降りた。

巡査は私のところへ来て言った。「ご自分で車を拾ってください。あの車夫は引けなくなりましたから。」

私は反射的に、外套のポケットから銅貨をひとつかみ出して、巡査に渡した。「これを車夫に……。」

風はまったくやんだが、通りはまだひっそりしていた。私は歩きながら考えた。しかし考えが自分に触れてくるのが自分でも怖かった。さっきのことは別としても、このひとつかみの銅貨は何の意味か。彼へのほう

第 37 课

び？私が車夫を裁ける？私は自分に答えられなかった。

この出来事は、今でもよく思い出す。そのため私は、苦痛に耐えて自分のことに考えを向けようと努力することにもなる。ここ数年の政治も軍事も、私にあっては、子供のころ読んだ「子曰く、詩に云う。」と同様、ひとつも記憶に残っていない。この小さな出来事だけが、いつも眼底を去りやらず、時には以前に増して鮮明に現れ、私に恥を教え、私に奮起を促し、しかも勇気と希望を与えてくれるのである。

1920年 7 月

〔译者〕 竹内 好(たけうちよしみ)

1910年－1977年。出身于長野县。中国文学家。评论家。著作有《鲁迅》《国民文学论》等。翻译鲁迅的作品也很多。

〔出处〕《鲁迅文集 第一卷》(筑摩书房)

第 38 課

第 38 課 日本語と国際交流

宮地 裕

教えることは教わることだと言うが、日本語を外国人に教えてみると、彼らから日本語について教えられ考えさせられることがよくある。

「先生、日本人、『さよなら』って言いませんね。」

「えっ？」

「good-byeのことですよ。人と別れる時、『さよなら』って言うのでしょうか。国で習いました。」

「いや、『さよなら』って言いますよ。」

「でも、学生たち、使いませんね。」

「何て言いますか。」

「バイバイ。」

なるほど、親しい者同士、特に若い人たちは「バイバイ」とか「バイ」とか言って、手を振って別れることが多い。年輩の私などでも使うことがある。幼児に向かっては当然のように言う。一般の辞典の中には、「バイバイ bye-bye (俗語) [もと、幼児語] さようなら」と解説するものもあるが、掲出していないものもある。日本語教育の教科書にも、普通は出ていない。いわゆる教室日本語と生活日本語の違う所なのである。

「先生、『はい』と『ええ』と、どう違いますか。」

第 38 課

「『はい』のほうが丁寧な返事ですね。」

と答えたものの、それだけかな、と気になった。それで考えてみて気がついた。これは案外大事な問題のよう
だ。

まず、「はい」も「ええ」も肯定の返事に使える点では共通している。

「お土産に果物を持って行ってあげようか。」

「はい、持って来てください。」

と言う時の「はい」は「ええ」とも言える。「はい」のほうが少し丁寧、あるいは、かしこまった感じがあるだろう。

「作文、もうできた？」とか、「あしたの会に出ますね。」とか、「旅行、好きですか。」などと聞かれた時にも、「はい」「ええ」の両方が使える。ところが、

「そこにいるのはだれ。」「はい、三郎です。」

と言う時の「はい」を「ええ」と言うのは変である。

「おはようございます。」「はい、おはよう。」

「じゃ、さよなら。」「はい、お気をつけて。」

などの「はい」を「ええ」と言うこともできないだろう。

これらから考えて、次のようなことが言えるのではないかと思う。

「はい」は、相手の言葉を受け止めたという意味の返事なのに対して、「ええ」は、相手の言葉を受け止め、

第38課

さらにその内容を承認し肯定するという意味の返事である。「だれ?」とか「いつ?」とか、聞かれた時に、その内容を承認するとか肯定するとかいうことはあり得ない。だから「はい」は使えるが、「ええ」は使えない。

「おはよう」とか、「さよなら」とか、あいさつされた時にも、その内容を承認するとか肯定するとか考えること自体、変なものだ。だからこの場合にも「ええ」は使えない。

先に、「はい」も「ええ」もともに使える場合は、「肯定の返事」として「共通している」と言ったが、これは、「はい」が文脈上、自然に肯定の意味をも表すようになっている場合なのだ。

ここまでの私の一応の結論だったのだが、しかし、さらに考えてみると、「はい」にも「ええ」にも、返事ではなくて相づちを打つ用法があって、紛らわしい。承認してくれた返事、肯定の返事だと思ったものが、単なる相づちだったとしたら、たいへんな誤解を生むだろう。欧米人は、あまり相づちを打たないで相手の言葉に聞き入る傾向がある。相づちを打つにしても“yes”の類は使わないようだ。そのため、欧米人から、「日本人はよく“yes” “yes” と言うけれども、実は、肯定しているわけでも、賛成しているわけでもない。言うこととすることが違う。」と非難されることがある。相づちの「はい」も「ええ」も“yes”に当たると思って気楽に“yes”を使

第38課

うことが、国際的な不信感を生むものになる。場面にもよるのだろうが、軽々しく“yes”を使ってはならないのだ。

「先生、『夢を見る』は慣用句ですね。」

と言われてはとした。慣用句の問題を、留学生を交えた教室で話し合っている時に、ある中国人留学生が聞いたのである。

慣用句は「決まり文句」の一種だが、例えば、「羽を伸ばす」は、鳥がのびのびと羽を伸ばすというもとの意味から離れて、人が制約を脱してのびのびとする。気ままに振るまうという意味に使われる。このような比喩的な慣用句には、「腹が立つ」(怒る)、「心を打つ」(感動する)、「鼻にかける」(自慢の種にする)などがある。

これらに対して、ごく普通の決まった言い回しの慣用句がある。「電報を打つ」「いや気がさす」「気がつく」などである。これらは、比喩的な慣用句とは違って、もとの意味を失っていないが、語と語の結び付き方が決まっているものである。「夢を見る」もこのたぐいの慣用句だと言うのである。われわれ日本人にとって、「夢」は「見る」以外のものではない。「いやな夢を見た。」「夢に母を見た。」などと使う。「夢のない時代」「夢と知っていながら」などとも使うが、その「夢」自体、「見る」ものと思い込んでいる。あまりあたりまえで気がつかないでいたのである。

第38课

「中国語では『夢ヲスル』（做梦）と言うんです。『夢を見る』と言わないので、おもしろいと思いました。」とその学生が付け加えた。数か国の留学生に聞くと、中国語式の言い方をする言語もあるし、英語の“dream”のように一語で表す言語もある。日本語式に「見る」を使う言語もある。いろいろだということを教えられた。

【作者】 宮地 裕（みやじゆうたか）

1924年生于东京。语文学家，著有《新版 文论》
《惯用句的意思和用法》等。

【出处】 选自中学教科书《国语2》（光村图书出版）



第39課

第39課 座談会

——話せる喜び——

西尾: 陳さんは日本にいらっしゃって何年たちますか。

陳: 4年半になります。

西尾: 初めのうちはびっくりなさることもありましたでしょう。まず、料理のことから始めましょうか。日本料理はお好きですか。

陳: あのう。今はおいしいと思いますが、最初は味がわかりませんでした。特に刺し身が食べられなくて。赤い身はちょっと怖いみたいで、人が食べるのも見たくなかったんですけど。でも、何回か食べているうちに味がわかるようになりました。

團: 中国人の友達が教えてくれたんですけど、日本料理は「料理」じゃない。材料がいいから「料」である。西洋料理は、材料があまりよくないから、何とかそれを食べられるように煮込んだりして、料理の方法、つまり理屈が発達したから、「理」である。「料理」というのは中国にしかございせん、と言うんです。これは、本当にある一面を突いています。

陳: なるほど。

團: 日本のような小さな国は、どこにでも新鮮なもの

を運べるけれど、中国のような巨大な国は、海の魚を内陸で食べることはできませんからね。

陳： ええ、内陸の山西省では、猫も魚を食べないと言っていました。食べ物と言えは、日本に来たころ、「湯」という看板を見て、スープを売っている所だと思いました。男のスープ、女のスープ、それに、松のスープ。

西尾： あっ、男湯に女湯。それに、松のスープは、「松の湯」というお風呂屋さんの名前のことですね。

陳： ええ。おなかがすいていた時に、スープの看板を見たので、入って行こうとしたら、主人が違う違うと慌てて…。主人は日本で育った人ですから。

西尾： でも、スープだけ売っている店があるなんて変に思われませんでしたか。

陳： でも、ここは外国ですから、どんなことがあるかわかりません。

團： 陳さんは、日本語を勉強していらっしゃって、今の「湯」のお話のように、日本語の漢字が中国と違う意味で使われていることにぶつかって、驚かれるでしょう。

陳： ええ、ええ。

西尾： 中国の方が日本語を習う時、初めは同じ漢字だから、簡単だと思って始められるんですけど、漢字の意味が違うことがわかると、似ているだけにか

えって難しいと思い始めるようですね。

團: それは、ぼくのように、日本人で中国語を勉強している場合にも当てはまりますね。

西尾: 漢字をつい自分の国の意味で読んでしまうから。

團: それと、もう一つは、音よりも文字に頼りすぎる。

西尾: テキストを読む時、意味を類推しながら読む。そして、会話をする時も、一応字を頭に並べてみる。

團: そう、日本の漢字を並べて、それを中国語の発音で読んで、できた、と思ってしまう。会話に字は要らないのに、ぼくの頭の中では要る。結局、頭の中で一度字を並べて、それを翻訳するから、早い会話には間に合わなくなる。おそらく欧米の人たちは、字に頼らないから、音から入るんじゃないですか。

陳: そうですね。

團: だけど、日本人は字から入る。それは、利点であると同時に隘路になる。これは、中国の方が日本語を習う場合も同じですね。

陳: でも、字を知らないと覚えにくいです。音だけで覚えた言葉では、たびたび失敗をしました。ケッコウと言うところを、コッケイと言ってしまったり。それからクチベニを買う時、「クチビルをく

第39課

ださい。」と言ってしまいました。

西尾: ご無事でしたでしょうね。(笑い)

陳: けれど、わたしも、今は日本の文字を意識的に読まないようにしています。

西尾: 日本の文字を中国語で読んでしまう弊害を避けるためですか。

陳: ええ、今はその過程にいると思います。

團: ぼくが中国語を勉強していて、もっとも苦労するのはやはり四声ですね。あれだけ声調があることね。でも、中国語を陳先生に教えていただいているおかげで、日本語の上がり下がりが明確にわかるようになりました。これは、ぼくの仕事で、歌を作る時に特に大切なことなのです。

陳: あっ、そうですか。でも、團さんの声調は上手です。やっぱり音楽家だから。

西尾: 耳がいいということは、言語習得には有利ですよ。

團: いやあ、耳がよくても記憶が悪いから…。ただ、語学というものは、とっとうれしいものですね。最初、中国に行った時、ぼくは何にもわからなかったんです。でも、陳先生に習い始めてから、だんだん人が何を話しているかということがわかってきたんです。

西尾: たとえ自分がその会話に参加できなくても。

第39課

團： ええ，わかるというだけでうれしい。それが少しずつ参加できるようになってくる。そうすると，いかに上手な通訳さんがいても，直接話したほうが，人間と人間のコミュニケーションができるんですね。たとえ下手でも。

西尾： そうですね。ところで，今，中国ではたいへん多くの人たちが日本語を勉強していますね。一説には日本語の学習人口は100万人くらいだとか。

陳： いいえ，200万人以上でしょう。ラジオ講座のテキストが出ると，すぐ売り切れてしまいます。必要があればあるほどよく勉強します。

團： 「必要な所に進歩なし。」ですね。

西尾： とところで，日本でも，陳さんのテレビ講座やラジオ講座で中国語を勉強している人が，やはり100万人以上はいるんじゃないですか。やはり社会的に必要だということ。

陳： ええ，あるいは本当に興味があるから。

團： やはりそれは，いかに多くの日本人が中国との友好を求めているか，という表れでしょう。そして，中国の方が日本語を勉強なさるのは，友好と同時に，近代化への必要性を求めているからでしょう。

陳： そうです。

團： やはり，国同士に友好の意欲がある時には，相互

第39课

に語学が盛んになるでしょう。国同士が互いに魅力を感じ合う時は…。

陳： ええ，ええ。ですから。これから，日本語を話せる中国人と，中国語を話せる日本人が，どんどん増えるでしょう。そうして，お互いに直接，交流できるようになるのは，本当にいいことです。

西尾： そうですね。本当に素晴らしいことです。

〔出席人〕

陈 文 芷： NHK汉语讲座讲师、日本大学教授

团伊玖磨： 作曲家、散文作家

西尾珪子： 社团法人国际日语普及协会专务理事

(1979年 <AJALT> 杂志收录的座谈会节选)

课文译文

第 21 课 火山与温泉

(1)

日本的国土仅占地球陆地的四百分之一，但是在这块狭窄的国土上竟聚集着世界上十分之一的火山。因此，要了解日本的风土，绝不能忽视这些火山的存在。

火山众多而造成的麻烦是经常发生地震，以及由于火山喷发而遭受灾害。例如在九州的鹿儿岛市，市民生活和农作物常常由于樱岛火山喷发的火山灰受到侵害。最近的1986年11月，东京南部伊豆大岛的三原山火山爆发，流出岩浆，引起岛上居民一度到本州避难的骚动。

可是有弊则有利，日本各处都喷涌着温泉就是火山带来的好处。

温泉的水中包含硫黄、钙等各种成分，有治病养伤之功效。所以，日本自古以来就有“汤治（温泉疗法）”的说法，经常利用温泉来治疗伤病。

温泉所在地往往有秀丽的山川，自然景色宜人。所以，“汤治”对古人来说也是为数不多的一种娱乐。身体浸泡在温泉里，眼望青山、耳听流水，日本人把这当作无上的享乐。

世界上称日本人是特别爱洗澡的民族。即使说温泉造就了日本人爱洗澡的习俗，恐怕也不会言过其实吧。

洗温泉不仅可以解除疲劳、治疗疾病，利用温泉的热能还可以培育蔬菜，饲养鱼类。而且，最近还在研究利用温泉的热能进行地热发电。地热发电在技术方面还有许多难题，但这种使温泉的热量成为能源的设想，对火山之国的日本却是颇具吸引力的。

(2)

王：这次要和佐藤去箱根的温泉。

田中：是吗。那太好了。

王：即是温泉，一定有火山吧。我也想看看火山。

田中：当然有了。有喷发过的火山口的痕迹，至今还在冒水蒸气呢。

王：真想去看看啊。不过，不会突然喷发吧。最近伊豆大岛的三原山不是

课文译文

喷发了吗？

田中：不要紧的。箱根的火山不像三原山那样活跃，不必担心。

王：那样我就放心了。不过，前些日子三原山喷发可吓了我一跳。

田中：可以想像得到。其实，我也没想到会引起那么大的骚动。火山喷发并不多见，不过日本火山多，不可掉以轻心啊。可是，火山也能带来好处呀。

王：温泉多就是靠了火山吧。

田中：对。还有，火山附近有湖，景色优美的地方很多。所以，日本的国家公园里一般都有火山和温泉。

第 22 课 礼 物

(1)

在日本，中元节和岁暮节有送礼的习惯。

本来中元节和岁暮节都是一种宗教活动，向神或佛供奉稻米、年糕、鱼等食物，然后送给亲近的人。后来逐渐失去了宗教活动的意义，现在成了日常得到别人关照，送些礼品表示感谢的习惯。

个人之间自不必说，公司之间也盛行互赠礼品。赠送的礼品有糖、茶等食品，还有餐具、服装等日用品，真是多种多样。为此，每年到了7月中元节和12月岁暮节的时候，全国的商店货架上便摆出了各式各样的礼品，店内买礼品的顾客摩肩接踵，拥挤不堪。

无论是中元节还是岁暮节，原来的宗教意义已经消失，如今多数人只是为社交而赠送礼品。虽然有“废除这种习惯”的呼声，但是现实却毫无这种迹象。岂止如此，有的百货商店甚至对外资系统的公司做工作，几乎要劝他们“入乡随俗”，顺应中元节、岁暮节的习惯。

说到礼品，近来又有了一个有趣的习俗。即在2月14日基督教的圣范伦泰节这一天，女子向喜欢的男子送巧克力。这种习惯连基督教的国家也没有。这种最初从年轻人之间开始的互赠巧克力的风气，如今不分年龄，已在公司等单位流行开来。

范伦泰节赠送巧克力的习俗，似乎是糖果点心公司为增加巧克力的销售

课文译文

额而一手策划的。说是被糖果点心公司巧妙地引入销售战的圈套也罢，总之是糖果点心公司出色地利用了人们喜好送礼的心理，赢得了销售战的胜利。

(2)

吉田夫人：对不起，家里有人吗？

田中夫人：有。噢，原来是吉田夫人。

吉田夫人：我家先生一向受到很多的关照。

田中夫人：哪的话，彼此彼此。欢迎您来，请进来坐。

吉田夫人：不啦，我这就告辞了。这点薄礼不成敬意，想请您一家人尝尝鲜。

田中夫人：哎呀，您这么客气，实在不敢当。请不要这么费心。

吉田夫人：今后还请您多多关照。您很忙，打搅了。

田中夫人：唉呀，我还没款待您呢？

吉田夫人：请代问您先生好。那就告辞了。

田中夫人：是吗。多谢您的关心。那么，就恭敬不如从命了。

第 23 课 美味生活

(1)

据说日本用在广告费上的花销将近国民生产总值的百分之一以上，竟达到约三兆日元的巨额。以电视广告为首，报纸、杂志上的广告栏，还有广告牌、招贴画等等，在我们的周围尽是广告。这么多的广告层出不穷，当然要花很多广告费啦。

说到广告，不久前出了一个叫作“美味生活”的广告。“美味”这个词平时用于食品，所以“美味生活”不能说是规范的日语表达方式。它是某个百货商店推出的广告宣传词句。

但是，话虽这么说，肯定会有人觉得奇怪，它为什么是百货商店的广告呢？实际上，无论是谁，第一次看到它时心里都会“哎！”地一下觉得奇怪。最初的印象是虽然知道它是广告，但却不知道是什么广告。但正是由于广告的意思不明确，才引起很多人的兴趣，惹人注目的。

“美味生活”一在招贴画、电视上露面，立刻成了人们的热门话题。为

课文译文

此，推出这个广告的百货商店的名字也自然不胫而走了。

这件事给人的深刻印象是，胆大而离奇的广告可以博得人心的时代已经来临。于是新式广告开始流行。

顺便说说从前是什么状况，那就是不管是宣传什么的广告，几乎都是容易记，让人一目了然的。但如今这种平淡无奇的广告无论如何也时兴不起来了。因为现在流行的是让人心里“啊”的一声觉得新奇的广告。

这种时髦不仅限于商业广告。公共广告原来大多是“驱除暴力”“要爱护老人”等易懂的号召。最近，则变得大胆而新奇了。

与金钱利益无关的公共广告既然也是广告，对时代的潮流就不能熟视无睹吧。

(2)

张：哎，这是电影广告吧。

山田：噢，这是地铁公共广告的招贴画。仿效卓别林的电影“独裁者”的幽默讽刺。

张：哎，写着“独占者”哪。

山田：就是不要自己占着座位，要互相让座的广告。

张：嘿，这倒很有意思。不过，如果不说明一下，我们可不明白。

山田：是啊，最近的广告里，像这种有点离奇的东西很多。噫，这也是一种时髦吧。广告这种东西，好也罢坏也罢，都会受到时代潮流的影响。

张：说得对。公共广告也不能对时代潮流熟视无睹呀。

山田：嗯，不能不让人觉得日本人被时髦牵着鼻子走啊。。

张：不过，我倒认为一个接一个新的潮确实会给社会带来活力。

第24课 仙鹤报恩

从前，某地有一个贫苦的年轻人。

有一天，青年正在耕田，一只被箭射中的仙鹤飘落下来。仙鹤叫着，好像是哀求他把箭拔掉。

“真可怜，好啦好啦，再忍一下”。

说着，青年把箭拔了出来。

仙鹤像行礼表示感谢似的，来回摇摇头，高兴地飞走了。

那天过后的第三天夜里，青年正要睡觉，听见叩打前门的声音。

“这么晚了，是谁呢？”

青年开了门，只见那里站着一位令人目眩的美貌姑娘。

“我迷了路。天却黑了。实在对不起，今晚可以在这里借宿吗？”

“这太难为你了，这么狭窄的地方，如果你愿意，就请住下吧。”

青年说着，请那位姑娘住下了。

以为只住一个晚上，可是姑娘要求第二天再住一宿。青年说只要你愿意，住多少天都可以。于是姑娘便一晚接一晚地住下来。最后竟提出要嫁给青年。

青年说：“嫁给我这个穷汉子，只能受苦啊。”

姑娘恳求说：“多穷都没关系，我会努力做事帮助你的。请让我作你妻子吧！”

对青年来说没有比这更高兴的事了，他欢天喜地地娶她作了新娘。

姑娘又美丽又温柔，而且很能干。青年仿佛沉浸在梦境里似的，感到幸福极了。

有一天，姑娘要求青年给她盖个织布的房间。青年就给她盖了个织布间。这回她说：“请你一定不要看我织布”。问她：“为什么？”

姑娘用异常严肃的口吻说：“不能告诉你原因。无论如何你得保证绝对不看。如果不守信用，我就不能再在你这里生活了。”

青年作了绝对不看的保证，姑娘就进了房间开始织布。不久，姑娘从房间里出来，显得有些疲倦。她微笑着将织好的布给青年看，那布质地精美如同锦缎，从来没有见过。

“请把它拿到城里去卖吧，肯定会卖个好价钱。”

听到姑娘这样说，青年便把它带到城里去卖。令人惊讶的是，城里最大的财主用难以置信的高价买下了织出的布。

青年高兴极了。回到家，他求姑娘再织一次。姑娘点点头，又走进房间织起布来。

突然，青年觉得有点奇怪。

“她怎么会织出那么精美的布呢？真想看一眼呀。”

课文译文

青年想起姑娘说过，如果看了就不能再住下去的话，所以一直忍耐着。可是，终于忍耐不住，就从小缝隙向里边窥视。

“哎呀呀！”

看后他吃了一惊。原来在房间里的不是那个又美丽又温柔的姑娘，而是一只仙鹤。仙鹤正在把自己的羽毛拔下来织上去，又拔下来又织上去。

被青年看到了的仙鹤悲伤地说：“让你不要看，你到底还是看了。我就是以前你救过的仙鹤，为了报恩到你这儿来的。即然已被识破，就不能再住下去了。”

说着，仙鹤留下织了一半的布，向遥远的天空飞去。

只有仙鹤那凄凉的悲鸣，经久不息地回响在晚霞中。

第25课 大陆移动

大竹政和

这里有一张地图，以大西洋为中心，东侧画的是非洲大陆和欧洲，西侧则是南北美洲大陆。仔细观察一下这张地图，您是否注意到了什么？

试着把非洲的西海岸和南美洲的东海岸对接一下，简直像神奇的拼贴画似的，不是正好重合在一起了吗？这种不寻常的现象，难道是偶然发生的吗？

距今70多年以前，德国的气象学家阿尔弗雷德·维格纳注意到这个海岸线之谜，对它产生了强烈的兴趣。为什么会出现这种现象呢？有一次，维格纳脑海中闪现出一个大胆的想法，即大西洋东西两面的大陆会不会原来是连在一起的？它是不是分裂成两部分并开始移动，到现在就相隔了几千公里？

这是个超越一般常识的离奇设想。但是，随着研究的继续，维格纳逐渐对这个设想的正确性深信不疑了。

如果原来是一个大陆，那么远古的地层应该是两方的大陆连接在一起的。经过调查得知，非洲的古山脉与南美南部相连。不仅地层的重叠方式完全一致，而且从相隔遥远的两个大陆的相同地层中发现了同类化石。另外，还查明有一种蜗牛仅生存于欧洲的西部和北美的东部。难道蜗牛能游水横渡大西洋？

这样，维格纳的研究范围从世界各地的动、植物到古化石及古代冰川的

遗迹等，不断扩大。结果他认为：不仅是非洲和南美洲，现在隔海相望、分散开来的所有大陆，在远古时代都是连接在一起的。他给这块大陆取名为“泛大陆”。“泛大陆”就是“整体是一个大陆”的意思。

维格纳提出的“大陆漂移说”，使全世界的人们为之震惊，从而成为学者们议论的焦点。但有很多学者不赞成这个说法。因为没有搞清楚沉重而巨大的陆地是依靠什么原动力航海几千公里的。

维格纳提出过几种假设，但哪个都不足以成为推动大陆的巨大力量，全都销声匿迹了。结果没能找到那种原动力，只过了二十年，大陆漂移说就被彻底遗忘了。

从那以后又过了20年。到了二十世纪五十年代，对我们居住的地球的观测和研究有了飞速发展。于是，随着对海底、地球内部状况以及地震的原因渐次明了，曾一度被抛弃的大陆漂移说又复活了。

推动大陆的原动力是什么呢？回答这个问题之前，先让我们看看海底吧。大西洋的正中绵延着一条近于南北走向的海底山脉。其长度约为地球一周的三分之一，是高达三千米的巨大山脉。沿着这条山脉的顶部，发生过多次地震。另外，测一下山脉附近的海底温度，得知那里比其他地带的温度高得多。在海底山脉那里一定发生着什么重大的事情。

其实，海底山脉的下面不断向上翻涌着岩石熔化成的稠糊的炽热物质（岩浆）。这些岩浆涌上海底后，不久便冷却，变成固体的岩浆岩。稍深部位的岩浆没有完全冷却凝固，便从海底岩浆岩下面向左右溢出。即将凝固的岩石可以像液体那样缓慢地流动。乘着这股岩流，海底岩浆岩也向左右移动、蔓延。这样，海底山脉下面不断产生新的岩浆岩，向外扩展。

海底岩浆岩上的大陆乘着这块扩展的岩浆岩运行，渐渐越离越远。推移大陆的原动力正是活动于海底的岩浆岩。

查看海底岩石的生成年代，海底山脉附近的地方年轻，而距离远的地方依次年久。其速度一年内仅几厘米，非常缓慢，但海底确实在移动。

非洲和南美洲原来确是一个大陆。不仅如此，仍如维格纳所说，地球上所有的大陆原来肯定就是一个，即“泛大陆”。由一张地图引起而闪现于维格纳脑海的离奇设想——大陆漂移说，由于科学的进步而出色地得到证明。

第26课 植物的气味

岩波洋造

植物各有其固有的气味，尤其是山蓊菜、大蒜、韭菜、紫苏、柠檬等具有较强的气味。查阅一下各种生物方面的书籍，植物的气味中，关于花的芳香，被解释为“起着招引昆虫、将花粉从雄蕊传播到雌蕊的作用”。但对叶、茎、根或果实散发出来的气味，几乎都不曾提到。植物体内发出的气味起什么作用呢？为了弄清楚这一点，做了以下实验。

首先准备两个试管，一个试管里只放入主食面包后密封。另一个试管里和主食面包一起放入少量（2克）擦碎的山蓊菜后密封。然后在摄氏25度的房间里持续观察。于是，没加入任何其他东西的试管中的主食面包上，第三天开始长出五颜六色的霉菌；加入山蓊菜的试管中的主食面包上，尽管过了十天、二十天也没有发霉。

试把山蓊菜换成等量擦碎的大蒜或切成二、三毫米大小的韭菜，仍然不发霉。

进而在三个玻璃缸（500毫升）的底部各自放入擦碎的山蓊菜、大蒜和切成片的柠檬皮，覆上网架，然后放入蜜蜂。盖上盖儿观察它的行动，不放植物的时候，过两个小时仍旧起劲地来回飞、来回爬的蜜蜂，在放入擦碎的山蓊菜（5克）的缸中，一分钟后就已经失去飞行的能力掉在网上，两分钟后则仰面朝天不再动了。放入同量的大蒜是五分钟，放了柠檬皮的是十四、五分钟后，蜜蜂完全丧失了活动能力。从这些实验结果来看，抑制霉菌的繁殖或使蜜蜂丧失运动能力的原因似乎在于植物的气味。

但是，还可以设想其他原因。比如说由于植物切片的呼吸，缸中的氧气不是就不足了吗。为了核实这一点，在装有植物的缸内的网架上，放入用纱布包裹的具有除臭作用的活性炭。结果，蜜蜂象没放植物的时候一样，总是活跃地爬动。这说明蜜蜂不能动的原因不是由于氧气不足，而是植物的气味。另外，关于霉菌繁殖也得到同样的证实。

其后又搞清了这些植物的气味对果蝇、蟑螂、蝶蛹、老鼠等其它小动物都有较强的影响。另外，还了解到紫苏、萝卜、葱头、柳杉等的气味，也具有抑制霉菌繁殖、削弱小动物活动能力的作用。

课文译文

再进一步，还明白了植物的气味对其它植物的生长也有影响。将刚刚发芽的豆芽置于散发着葱头、大蒜气味的地方就长不直，或停止生长。向生长中的山茶花粉散发葱头的气味时，其生长完全停止以后，花粉管前端就象气球似地膨胀起来。这和花粉受到大量放射线照射时的状态非常相似。

由于植物是利用阳光自己合成淀粉等营养成分，所以不必像动物那样吃其他生物。但是有必要防备来吃自己枝体的动物。来吃植物的动物如果察觉那个植物周围弥漫着对自己有害的气味，就会敬而远之，逃之夭夭吧。如果硬咬住植物的枝体，就会由于强烈气味的作用而动弹不得。另外，当枝茎折断或叶片破碎的时候，气味还发挥抵御侵入伤口的细菌类的作用。进而气味还起着为了本植物生长而抑制周围其它植物生长的作用。植物的气味是在它们进化过程中具备的、用于自卫的一种武器。

植物具有的这种气味能不能用于人类疾病的治疗和预防以及食品的保存呢？不仅这样想过，人类自古以来就在生活中利用气味。传说柚子浴、菖蒲浴对身体有好处。竹叶年糕、粽子、樱叶年糕等则是利用气味保存食品的例子。还有生鱼片添加山萵菜、紫苏、萝卜，也是在品尝风味的同时，利用植物的气味发挥杀菌防腐作用，可以看作是生活的智慧。

第27课 通知书的写法

在日本留学的世界各国留学生决定共同举办音乐会。小王是这个“留学生音乐节”的执行委员会成员，担当写通知的工作。于是他就与铃木先生商量有关通知书的写法。

王：先生，我想请教您一点事。

铃木：什么事啊？

王：这次由我来写“留学生音乐节”的通知书，这种通知书怎么写才好呢？

铃木：通知书这类信件，有某种程度的既定格式，所以只要按照格式去写，并不很难啊。

王：有什么可以参考的东西吗？

铃木：正好现在我这里有两份通知书，是演讲会和展览会的通知。

课文译文

王：请让我看看行吗？

铃木：可以，请看，这就是。

“纪念国语、国文学会成立五十周年讲演会”通知

敬启者

谨祝贵体安康、诸事顺遂。

国语、国文学会成立以还即将喜迎五十周年。因此，作为五十周年的纪念活动之一，拟邀请海外，特别是亚洲地区的日语及日本文学研究人员，按下述事项举办讲演会与联谊会。

望于百忙中拨冗出席为盼。此致

铃木一郎先生

一九八九年二月一日

纪念国语、国文学会五十周年活动

执行委员会

记事

1. 日期 1989年3月15日
下午1时至5时（讲演会）
下午5时至7时（联谊会）
2. 地点 国际文化研究所礼堂
3. 参加联谊会费用 3000日元

又及：是否参加，请于2月28日前以随函附寄的明信片通知本会。

“世界教育器具展览”开幕通知

敬启者

新春日近一日之际，各位想必均甚安好。

此次，本协会汇集世界各国优秀教育器具及教材，将举办“世界教育器具、教材展览”。

展品从幼儿教育器具到利用高科技电脑的科学实验器械，范围广泛。同

课文译文

时一并展销世界各国新式教科书及文具。

届时务请光临,以期为您的教学工作服务。此致
铃木一朗先生

1989年2月20日

东京都港区西麻布12-3-24

财团法人 国际教育器具普及协会

记 事

1. 日期 1989年3月1日至3月20日
上午10时至下午5时
2. 地点 东京晴海国际商品博览会第五会场

第28课 手 表

.....

田中: 对不起,我想买手表。

店员: 哦,这里有绅士用的手表。

田中: 这么多种啊,哪个好呢?

店员: 是啊,这类数字显示的表怎么样? 可以显示时间和日历,容易看,还有报时的功能。

田中: 有三个键呢,操作不麻烦吗?

店员: 不,绝对不会。用惯了很方便的。

田中: 是吗。那么,买这个吧。

.....

• 使用说明书

这种表如右图所示,除一起显示时间和日历外,还具有报时功能。A是改变显示的键。每按一下A键,可以改为报时、对时的显示。

以下分别说明各个功能。

[报时]

对预先设定的时间,具有音响报时的功能。

课文译文

按一下A键，日历显示变为报时显示。如想修改报时时间，请按B键。B是选择修改位置的键。按一下，闪现小时的数字，再按则闪现分钟的数字。

用B键选好修改位置后，即可按C键，改变数字。C是改变数字键，每按一次，递进数字一个，持续按键，数字快速递进。

选定时间后，请同时按B、C两键。这样，报时即行固定。如想解除报时，请再同时按B、C两键。想停止正在报时的声音，请按ABC中任何一键均可。如果不按键，报时持续鸣响20秒钟。

[对时]

如想修改时间或日历，请再按一次A键。这样就闪现秒的单位。然后按B键选择想要修改的位置。

每按一次B键，闪现位置由秒到分、时、星期、月、日依次变化。选好修改位置后，按C键改变数字。

以上是使用这种表的要领，按错了键也不会损坏，不必担心。另外，由于配有防水装置，因此戴表下水也没关系。只要不摔或强烈碰撞，稍许震动不会损坏，也不会不准。但是，请避免长时间在温度过高或过低处放置。这样容易造成显示不清，或数字改变方式迟钝。

另外，这种表的保修期为两年。保修期内需要修理时，原则上免费，请与代修店联系。

第29课 城市住宅状况

(1)

日本人住在兔子窝里——这是EC（欧洲共同体）关于日本的总结报告中的话。听到这种话，很多人非常不满，“日本的住宅再小，也到不了这种程度嘛”。虽然这么说，但是，它令人重新认识日本住宅紧张状况，也是事实。

现在，日本的住宅状况几乎毫无改变。特别是大城市，依旧是住房难。

想在城市里拥有自己的住宅毕竟太难了。“支付公寓或租住的房租就耗尽了精力，经济上哪有余力买自己的房子呢。”这恐怕是城市居民坦率的感叹吧。

最近，与单门独户相比，据说选择按户出售的公寓单元住宅的人增多了。因为能建新房的土地所剩无几，这也是没办法的事。

课文译文

当然，谁都迫切希望能住更宽敞的房子。“真想住上有庭院的独门独户呀！”这是很多人的梦想。但是，即便买了有庭院的房子，也有难处。因为能买到有庭院的房子只能是郊区，所以交通就不方便了。在东京，从郊外的自宅单程花上两小时左右到市中心公司上班的职员为数不少。虽说有了自己的家，但每天仅在拥挤的电车上摇摇晃晃地往返四个来小时就够累人的。

这种住房难是城市人口极度集中造成的现象。无论如何人口密度在一平方公里一万人以上的情况下，城市住房不足也是自然的。

城市为人口过密所困扰，但农村却为过疏现象而烦恼，这可真是一种讽刺。由于人口集中到大城市，农村才出现人口减少现象。过疏严重的地方甚至整个村子都消失了。

最近，开始认真地研究不把政府机关或企业集中在城市，而分散到地方的计划。另外，青年人的意识发生了变化，比起城市还是想在农村生活的青年人逐渐增加。这证明很多人开始注意到城市过密和农村过疏的矛盾。

(2)

田中：哎，吉田，听说你买房子了。恭喜恭喜。

吉田：谢谢。托您的福，总算有了自己的房子。这回请一定来玩玩。

田中：嗯，过几天去道喜啊。听说房子很漂亮的。

吉田：不，还谈不上。只是想既然买房子最好带个庭院，宽宽敞敞的，所以选中了。宽敞倒是宽敞，只是在郊外，上下班真够呛……

田中：到公司要多长时间？

吉田：两个小时多一点。所以每天早上6点半必须从家里出来。如果稍微睡一会懒觉，保证迟到。

田中：那可要睡眠不足了。

吉田：是啊。最近总是睡得厉害，不过，东京的职员们都是一样辛苦，没法子呀。

田中：倒也是。尽量别难为自己，假日里好好睡一觉才是啊。好容易买了房，要是把身体弄垮了，那可就得得不偿失了。

第30课 日本人和鱼

(1)

语言这种东西与生活有着密切的联系。

动物中的骆驼，日语里只有“ラクダ”这一个单词。可是据说在阿拉伯语里却有“骑的骆驼”“运货的骆驼”等各种不同的单词。看来对生活在沙漠里的人们来说，骆驼是生活中不可缺少的东西，所以在语言使用上也区分得较细。

那么，日语如何呢？考虑这个问题时，想到的是鱼。

比如鲷这种鱼，按照生长阶段被称为哈马奇、梅基罗等几种不同的名称。语言上区分得这么细，是因为鱼和日本人的生活之间有着密切的关系吧。

日本是四面环海的国家，自古盛产鲜鱼。像寿司或生鱼片那样食用生鱼的习惯，也无非是因为能捕到大量鲜鱼的缘故。鱼是日本人生活中不可缺少的。

可是，最近日本人对鱼似乎不那么熟悉了。连围着锅台转的主妇之间，说是“听到鱼的名称也不知道是哪种鱼”的人多了起来。

这种“疏远鱼”的原因之一在于去超级市场买东西的主妇比在鱼店或蔬菜店里的增加了。超级市场里多是冷冻保存的生鱼片或生鱼块，包装成单人或四个人的份来卖。从开始就切成生鱼块的鱼是联想不出游动的鱼的形象吧。既不浪费又易于食用当然好，可是为了节省烹调时间，却剥夺了主妇对鱼的关心和知识。

大人尚且不知道，更何况孩子呢。听说只见过生鲑鱼块的城市小学生看到真的鲑鱼竟大吃一惊。的确，孩子们想像不出生鱼块会那样在水里游动，但这件事令人啼笑皆非。

照此以往，不久，日本人不要说区别鲷和哈马奇，岂不要什么鱼都区分不出来了吗？说日本传统的膳食文化正在遭到破坏也绝不夸张吧。

(2)

山田：昨天看了一场“主妇的教养问答竞赛”的电视节目。没想到世上的主妇们竟然那样无知。真令人吃惊。

王：哦，什么问答竞赛啊？

山田：先让看一种鱼，然后答出它的名称的竞赛。大多数主妇回答不上来。

要是每天去买东西，鱼的名称这点事自然而然就能顺便记住啊。

课文译文

佐藤：那个问答竞赛我也看了，不过也难怪主妇不知道鱼的名称啊。即使每天在超级市场买东西，也不见得就能掌握有关鱼的知识。

王：可是我听说日本是世界上吃鱼最多的国家呀。既然如此，还不知道鱼的名称，也令人奇怪啊。

山田：对吧。这是日本膳食文化的崩溃。

佐藤：哟，太夸大啦。无论山田如何愤慨也无济于事。要是那样，为了保护日本的膳食文化，山田来当主妇怎么样？

山田：不行。我想还是用专吃寿司和生鱼片来保护日本的膳食文化吧。

第31课 山国之春 北国之春

仓岛厚

尺牍大全之类的书里罗列有关节令问候的成套句子。从中挑出几个春季寒暄的来看看。

二月 余寒袭人时节。立春图有虚名。

三月 早春之际。严寒终于缓解。油菜花盛开之时。

四月 春意盎然。山花烂漫、田野迎春。阳(暮)春时节。

五月 熏风习习的五月。日来新绿醒目。惜春之际。

看到这些，令人再次由衷地赞叹表现日本季节变化的词语真是言简意赅。不过，这些只适于形容东京、大阪等日本的中心地带。日本列岛地形狭长，南北的春季感自然有相当的差距。让我们用气候表的数据来证实一下这个问题。

○各地月平均气温的常年值(°C)

地点 \ 月						
	1	2	3	4	5	6
那 霸	16.0	16.4	18.0	21.0	23.7	26.1
鹿 儿 岛	7.0	8.2	11.2	16.1	19.8	23.0
东 京	4.7	5.4	8.4	13.9	18.4	21.5
札 幌	-4.9	-4.2	-0.4	6.2	12.0	15.9
轻 井 泽	-3.8	-3.4	-0.5	6.3	11.5	15.3

课文译文

月初和月末或一天的昼和夜的气温不同，而且每年都会发生变化。这个表中的数值是经过长年统计，将一切数值取其平均得出来的。月平均气温的常年值基本上与当月15日左右的平均气温常年值一致。

用这种观点看这个表，可以估算出各地季节的差异。比如东京4月中旬的气温与鹿儿岛的3月末或4月初相当，季节差是15天左右。而札幌4月中旬的气温相当于东京3月初的气温，季节差就是40天左右。那么，札幌和鹿儿岛的差异就是两个月。

那是很早以前，我从东京调到札幌去工作的时候。离别东京的前夜，住宅附近的樱花街树夜里仍是银花闪烁，和煦的春风拂面，而翌日的千岁机场却是飞雪横扫，札幌的街道两旁还是冬天的光秃秃的树干。赏花是在40天以后的5月中旬。

过了几年，这回又告别花都到鹿儿岛赴任。当时，樱花已飘然落下。沐浴着初夏的阳光，樟树的嫩芽闪闪发亮，火红的杜鹃花在一片新绿中开始怒放。

对降水量适当的地区，让我们从气候表的平均气温得出了解自然界大致情况的基准。

＜0度以下＞ 土壤水分冻结，植物停止生息。一派冰雪景色。

＜0度—5度＞ 下雪或下冷雨。春天是时而融雪，道路泥泞的季节。秋天树木落叶，平原积雪时现时消。山间全是积雪。

＜5度—10度＞ 春天仍是光秃树木居多，枝头可见绿色的芽苞，早春花卉初开。秋季由树叶红透到叶落。

＜10度—15度＞ 春天树木由花开到叶绿。秋天树叶由开始着色到完全红透。如果下雨则感觉寒冷。

＜15度—20度＞ 树叶由嫩绿变为翠绿。在东京则是五月和十月的平均气温。温度适宜，天气晴朗，是非常清爽而明快的季节。也是欧洲夏季的平均气温。

＜20度—25度＞ 是梅雨季和秋季淫雨时节的平均气温。感觉闷热。

＜25度以上＞ 日本人感觉盛夏的平均气温。盛暑期。出现热带夜晚的现象。

轻井泽气象站海拔999米。正因为它高，所以虽然离东京不那么远，却

课文译文

与相距 800 公里的北部平原札幌市的气温相同。气温一般每高 1000 米下降 6 度。而东京附近春天气温的 6 度差大约相当于 40 天的季节差。

从表中的数字还可以看出另一点，即山区或北国春天步伐的快慢。从三月到五月气温上升的幅度是：那霸 5.7 度、鹿儿岛 8.6 度、东京 10.0 度，札幌 12.4 度、轻井泽 12.0 度，越往北或海拔越高，上升的幅度就越大。北国或山区的春天虽然来得迟，但却是迸发式地开始的。

第 32 课 燕 子

(1)

日本野鸟会现在陆续收到“燕子回窝了”的消息。

说到野生鸟类，谁都知道麻雀、乌鸦，其次就是燕子。特别是麻雀和燕子，可以说只有人居住的地方才有，是与人类关系密切的鸟类。

不大了解它们为什么具有这种习性，据说是与鸟窝的安全性有关。一般的鸟把人类看作外界敌人，不予接近。可是这两种鸟却利用人类防备黄鼬、蛇等天敌袭击自己的窝。人类住宅的周围非人类确实难以接近，这种说法是有道理的。

可是，这两种鸟在与人交往的方式上大不相同。

麻雀似乎认为人是相当危险的动物，最初来到有食物的地方觅食，它总是非常注意人的动向，一有动静就立即逃走。当然，窝也建造在人手够不着的地方。

而燕子似乎很信赖人类。把窝悬挂在手够得着的屋檐下，有时甚至建在房屋内。清晨一打开门，燕子也开始活动，燕子归来后才关门。可以说是成了家庭的一员。

燕子还很喜欢热闹的地方。如果是住宅，它的窝多建在人们出入的门口；环视全城，它的窝则多建在商业区面对大街的地方。大概是人的视线越多越安全吧。

即使与人这么有缘份的燕子，到了大城市情况就不大一样了。在高楼林立的地方，想造窝却没有土。虽然在盖楼房或修路的施工现场总算能筹措到所需的材料，却找不到加固用的枯草。不得已，只好用土来造窝，但由于经

课文译文

不住卵或燕雏儿的重量，经常坠落下来。

在城市里寻找食物和水也很困难。燕子捕食蝴蝶或蜻蜓等在空中飞行的虫类，但在缺乏绿树的地方找不到足够燕雏儿生长发育的食物。于是公园里便聚集了许多这种来觅食的燕子。

与人结交最密切的鸟难以居住的地方，对人类会是怎样呢？看看你所在城镇的燕子怎样生活也许会了解。它们在吃什么东西？在哪找食物？怎样找水？你将会明白，燕子是怎样看待你的城镇的。

(2)

山田：完全是春天的样子了。哎，燕子在飞。

佐藤：真的。已经到了燕归来的季节啦。

山田：一看到燕子就感到真是“暖和啦”。

佐藤：是啊。说起来，小时候我家屋檐下就有个燕子窝。

山田：哦，是吗，燕子每年都回旧窝吧。

佐藤：是的。所以，我就把它当成自己家的一员了。不过，最近不大看见燕子窝了，可能还是城市里难以生存吧。

山田：城市里绿树急剧减少，所以燕子大概搬到绿树更多的乡村去了。

佐藤：总觉得有些寂寞啊，城市里再增加些绿树，让各种鸟、动物都能生活就好了。

山田：可是，城市里还有些绿树呀。对，佐藤，咱们去散步，顺便看看鸟吧。

第33课 尖端技术与传统文化

(1)

如今，科学进步带来的新技术将要大大地改变人们的生活。电脑、工业机器人被广泛采用。还有，利用阳光和地热开发新能源的计划也在进行。更进一步说，人工操纵遗传基因和细胞的生物工程也很引人注目，这些新技术今后将日益发展，必定大大改变各种产业的生产方式。

这些科学技术一般被称为“尖端技术”。但是一说到尖端技术，往往被以一切都是全新的技术，其实不然。虽然是最新的技术，但其中许多是发展了以往人们积累的传统文化或技术。

课文译文

例如，最近有一种新的原材料叫作新型陶瓷，倍受赏识。这里所说的陶瓷，是陶器、玻璃、砖等，经过热处理制成的固体材料。所以，新型陶瓷可以理解为一种崭新的陶瓷。本来，作为原材料的陶瓷，具有耐热而且不腐蚀的特性。与其他原材料，如铁或塑料等相比，这是个很大的优点。铁会生锈，塑料不耐热，很容易熔化。不过，陶瓷虽有耐热不生锈的优点，但同时却存在着易损坏和难加工的缺点。所以，能否造出既具有陶瓷的长处又坚固而易加工的原材料呢？新型陶瓷就是从这个构思中产生的。

陶瓷是将石粉和粘土混在一起烧成的，而新型陶瓷是将氧化铝等人工精制的原料混在一起烧至坚固的。这样制成的新型陶瓷，其硬度可与金刚石相媲美，可以精细地加工到作精密仪器的部件使用。

说到新型陶瓷，它还以用于宇宙飞船外壁的耐热瓷瓦而闻名。由于与空气摩擦，宇宙飞船外壁的温度可达1000度，但新型陶瓷完全可以承受这种高温。利用新型陶瓷这种耐热、质轻的性质制作汽车引擎的研究也在进行。另外，因为它不腐蚀，容易适应人体，还用它作为人工骨头或关节的材料。

新型陶瓷可以说是最新科学知识和人类传统智慧的结晶。自古流传的制陶技术摇身一变，成了支撑宇宙时代的重要技术，倒是颇有意思的事。

(2)

张：林老师，听说您精通生物工程，我想来向您请教一下。首先，所谓生物工程是什么？如果按字面译成日语，是“生物技术”吧。

林：对。更严谨的定义可以说是利用生物生产物质的技术，例如，利用大肠杆菌这种细菌制作胰岛素……。

张：胰岛素是治糖尿病的药吧。

林：是的。以前是用牛的胰岛素制作治糖尿病的药，但是无法大量生产，而且有人不适应牛的胰岛素。所以，曾研究大量生产人的胰岛素的方法。由于在大肠杆菌中植入人的遗传基因，使这种方法成为可能。

张：把人的遗传基因植入大肠杆菌？

林：就是切取具有制作胰岛素这种机能的人的遗传基因，把它植入大肠杆菌内。因为当代已经可以在某种程度上用人工操纵遗传基因了。

张：操纵遗传基因，这简直象神仙一样，人居然能作到了。

林：这确实是了不起的进步啊！不过，想来人类自远古就会利用生物做东西

课文译文

呀。比如用酵母菌做面包啦，利用微生物酿酒、作酱或酱油等等，道理是一样的。

张：你是说这和技术有共通之处吗？

林：对，有很大关系呢。也可以说，生物工程就是传统技术再加上操纵遗传基因这一最新技术而形成的。

张：原来是这么回事。可是，生物工程应用在什么领域呢？

林：当前是医疗和农业领域。不过将来的应用范围会大得多。

张：是啊。因为人们对生物工程寄予厚望啊。您讲得太有意思了，谢谢您。

第34课 一种新发明的枕头

星 新一

“啊，我的大发明终于完成了！”

F博士在小小的研究室里大声说道。邻居的先生听到这话走过来问道：

“您发明了什么呀？看样子好像是个枕头。”

当作宝贝似地放在一旁桌子上的东西，从大小和形状来说酷似一个枕头。

“的确是睡觉时枕的东西。不过，它可不仅仅是枕头。”

博士将它打开指着说。那里面装满了电池和电器零件。隔壁的先生双目圆睁，问道：

“真了不起。用它可以做好梦吧！”

“不，比那有用得多。这是一种睡觉的时候可以学习的装置。也就是说，睡眠当中由于电磁波的作用，可以把枕头中储存的知识输送到大脑里。”

“您说的这个好像挺方便啊。那么，可以学习什么呢？”

“因为这还只是试制品，只能学英语。睡着觉就能说英语了。不过，如果改良一下，估计无论什么学问都是同样可以学到的吧。”

“这可真是惊人的发明啊。无论多懒惰的人，只要夜里枕着它睡觉就什么都学会啦！”

邻居的先生越发佩服的五体投地。博士得意地点头答道：

“说得对。最近许多人不愿意努力学习。这种人准想买。托他们的福，我也要发大财了。”

“如果真有效果，肯定谁都想。”

“当然应该有效了。”

邻居的先生听到这里责问道：

“照这么说，还没经过验证吗？”

“是啊。我埋头于这项研究，并且完成了。可是一想，我已经会英语了，所以不能自己来验证。”

博士露出为难的神色。隔壁的先生忸怩地探身说：

“那就请让我用用吧。我虽然不爱学习，但却正想好好掌握英语呢！请您一定帮忙。”

“当然可以。哎呀呀，没想到这么快就有想试试的人。”

“要试验多长时间呀？”

“一个月就应该有相当的进步了。”

“谢谢您。”

说着，邻居的先生抱着新发明的枕头，高高兴兴地回家了。可是，过了两个来月，他却无精打采地把枕头还给F博士来了。

“从那以后一直试着用它，可始终不会说英语。算了吧。”

博士检查了内部装置，自言自语地说：

“真奇怪，没出故障，是哪儿的毛病呢？”

不过，如果无效也不能用啊。耗尽心思的发明也白费了。那以后不久，F博士在路上遇见邻居那位先生的女儿，就向她打招呼：

“那以后，你父亲好吗？”

“好。不过有点反常。最近总用英语说梦话呢。以前可不这样，不知道是怎么啦。”

原来是睡觉期间学的东西，只有睡着的时候才管用啊！

第35课 日本人和工作

张：看了昨天晚报的报道吗？有84%的美国人回答说对自己的工作感到自豪，而日本人中，你猜有多少人这样回答？只有37%。

山田：哪会有那种事。相反，还受到欧美的批评，说日本人过于勤奋呢。

课文译文

田中：的确像山田所说的那样啊。不过，那份调查表的结果，也不能完全断言与事实不符。

王：这是什么意思？

田中：也就是说，虽然是回答同一个调查表提出的问题，但是比起失业率较高的美国，相对而言日本是极低的，情况大不相同，一言以蔽之曰对职业抱自豪感，可是考虑问题的角度当然不一样啦。

张：说得有理。确实也是这样。不过，以前被比喻为工蜂的日本人的职业观似乎也发生了很大变化呢。

佐藤：的确，现在很多人十分珍视摆脱工作以后的自己的时间。国家也奖励不要一天到晚埋头工作，要具有广泛的兴趣嘛。

山田：相应地就说是日本富裕了？哼，够挖苦的。这种富裕社会的根基还不是那些被称作工蜂的人们创造的。

张：不过，在我这个外国人看来，现在日本人仍旧是努力工作的。我虽然看过各种日本的企业，但比机械化的进步更令我吃惊。

王：我是个女的，无论如何总会与小张的看法有差距。让我最吃惊的是女性对工作的看法。

佐藤：哪方面？

王：就是和中国不一样，不一定所有的人都有工作。我觉得特别是年轻妇女似乎分成两种截然不同的类型。一种是走上社会，毫不示弱地与男人一样紧张工作；另一种是希望一门心思在家里干家务……。

佐藤：小王真不愧是女性，看问题好尖锐呀。确实象你说的那样。不过有许多人想一门心思干家务，我认为原因也在于现在的社会体制。日本社会仍然是以男性为中心，女性很难按照自己的想法就职，这是现实问题。

山田：这也不仅限于女性。即使是我们这些男的也已经不是凭学历就能找到喜欢的工作的时代了。不论是男的还是女的，条件不是差不多吗。

田中：佐藤怎么样啊？属于小王说的哪种类型？

佐藤：我嘛，当然想试着走上社会，施展自己的能力啦。结婚以后，如果对方同意，我还想继续干。

山田：可是，工作、家务双肩挑可不那么简单哟。日本的多数男人要是结婚，

还是希望要个能好好管家的女人哪。

佐藤：哟，没想到山田竟这么守旧，像你这种人，谁会来给你作妻子。

张：佐藤，别太当真啦，好像在和未来的丈夫吵嘴似的。

佐藤：小张，你就别拿我开心了。我现在可是说的正经话啊。

田中：好啦，算了吧。无论怎样，大家都是要选择自己的出路走上社会的。

人生的选择，再三思虑也不过分。无论佐藤是工作还是专当主妇，走自己愿意走的路不是最好吗？

王：说得对啊，最重要的是自己愿意，然后作出决定，毕竟是自己的人生啊！

田中：的确如此。不过，如果让在企业中工作的人说，则认为以往的以男性为中心的日本社会正在明显地变化。想更多地采纳妇女独特的建议或观点的企业增加了。所以，我想今后在各行各业中，妇女的存在将是不可缺少的。

张：是吗？那可是好事呀。这说明对职业的看法改变了，对男女分工的看法也大大改变了。

第36课 贡嘎山的奇迹

位于中国四川省的贡嘎山海拔 7556 米。它那高耸入云的雄姿就象一匹白马，马鬃迎风飘舞，真是一座美丽的山。然而，它并不总是美丽的山，一旦气候恶劣，它就立即化成一座粗暴的魔山。也是迄今夺走许多登山家生命的可怕的山。

1982 年春天，7 名日本人组成的登山队向这座贡嘎山挑战了。登山队经过充分的准备，一面使身体适应高山的低气压，同时向贡嘎山进军。就这样，两名队员即将向山顶攀登了。

两人顺利地接近山顶。可是，离山顶仅剩 50 米的时候，突然天气变坏。像是要阻挡二人登上顶峰似的，风卷着雪花漫天飞舞，浓雾遮挡了视线。

两个人放弃了攀登顶峰的念头，决定下山等待天气平缓。可是天气始终不见好转的趋势。他们在雪洞里宿营，这当中，粮食吃光了，疲劳不断地侵蚀着两个人的身体。加上步话机冻住了，中断了和其他队员的联系。

课文译文

他们俩互相鼓励，寻找着下山的机会。过了几天，天上隐约显示出晴空，机不可失，两个人使出平生力气开始下山。

可是，两人的体力已经耗尽，脚也不听使唤了。仅用一个小时登上来的路，下山却花了整整一天。其间，胃已经吃不进东西，手指和脚指由于冻伤失去了知觉，不能动了。两个人终于精疲力尽地倒下，而且其中的一个永远回不来了。

但是，两人中的另一个虽然受了重伤，总算保住了一条命，奇迹般地生还了。他的名字叫松田宏也。

搭救松田的是四个来采草药的彝族农民。下到海拔 2940 米的松田倒一条小河边身体完全不能动了。这时，松田的耳边听见有人说话的声音，眼前出现了几个人的面孔。他们就是被松田的母亲称作“救命菩萨”的毛光荣、倪明全、毛绍均和倪红军的脸。

四个人把松田送到附近山上的小屋，升起火，让他喝了温盐水，照看护理他。倪明全和毛光荣二人立即下山向公社报告。接到这个紧急报告，100 多人的救护队出动了。而且，昼夜兼程赶了 100 公里的山路，将松田抬进了磨西的医院。

体重 62 公斤的松田被抬进医院时，只剩下 32 公斤了。进一步诊断的结果，除双手双脚冻伤以外，总共还有 16 种疾病。已经到了濒临死亡的状况。立即进行手术，这种及时处置使在死亡深渊中徘徊的松田复活了。

松田的得救无疑是一个奇迹。如果不是遇上四位彝族农民，如果没有那么多人敏捷、献身的行动，松田肯定会丧命的。

以后，松田被送到成都的四川医学院附属医院，接受无偿的热心治疗和看护，直至康复到可以回国。

如今，松田又重新成为社会的一员，健康地生活着。松田虽然失去了双手手指和双腿，但是假腿牢固地支撑着他的身体。同时，众多中国人的爱正强有力地温暖着他的心。

第 37 课 一件小事

鲁迅 著

竹内好 译

课文译文

我从乡下跑到京城里，一转眼已经六年了。其间耳闻目睹的所谓国家大事，算起来也很不少；但在我心里，都不留什么痕迹，倘要我寻出这些事的影响来说，便只是增长了我的坏脾气，——老实说，便是教我一天比一天的看不起人。

但有一件小事，却于我有意义，将我从坏脾气里拖开，使我至今忘记不得。

这是民国六年的冬天，大北风刮得正猛，我因为生计关系，不得不一早在路上走。一路几乎遇不见人，好容易才雇定了一辆人力车，教他拉到S门去。不一会，北风小了，路上浮尘早已刮净，剩下一条洁白的大道来，车夫也跑得更快。刚近S门，忽而车把上带着一个人，慢慢地倒了。

跌倒的是一个女人，花白头发，衣服都很破烂。伊从马路边上突然向车前横截过来；车夫已经让开道，但伊的破棉背心没有上扣，微风吹着，向外展开，所以终于兜着车把。幸而车夫早有点停步，否则伊定要栽一个大斤头，跌到头破血出了。

伊伏在地上；车夫便也立住脚。我料定这老女人并没有伤，又没有别人看见，便很怪他多事，要自己惹出是非，也误了我的路。

我便对他说，“没有什么的。走你的罢！”

车夫毫不理会，——或者并没有听到，——却放下车子，扶那老女人慢慢起来，搀着臂膊立定，问伊说：

“你怎么啦？”

“我摔坏了。”

我想，我眼见你慢慢倒地，怎么会摔坏呢，装腔作势罢了，这真可憎恶。车夫多事，也正是自讨苦吃，现在你自己想法去。

车夫听了这老女人的话，却毫不踌躇，仍然搀着伊的臂膊，便一步一步的向前走。我有些诧异，忙看前面，是一所巡警分驻所，大风之后，外面也不见人。这车夫扶着那老女人，便正是向那大门走去。

我这时突然感到一种异样的感觉，觉得他满身灰尘的后影，刹时高大了，而且愈走愈大，须仰视才见。而且他对于我，渐渐的又几乎变成一种威压，甚而至于要榨出皮袍下面藏着的“小”来。

我的活力这时大约有些凝滞了，坐着没有动，也没有想，直到看见分驻

课文译文

所里走出一个巡警，才下了车。

巡警走近我说，“你自己雇车罢，他不能拉你了。”

我没有思索的从外套袋里抓出一大把铜元，交给巡警，说，“请你给他……”

风全住了，路上还很静。我走着，一面想，几乎怕联想到我自己。以前的事姑且搁起，这一大把铜元又是什么意思，奖他么？我还能裁判车夫么？我不能回答自己。

这事到了现在，还是时时记起。我因此也时时熬了苦痛，努力的要想到我自己。几年来的文治武力，在我早如幼小时候所读过的“子曰诗云”一般，背不上半句了。独有这一件小事，却总是浮在我眼前，有时反更分明，教我惭愧，催我自新，并且增长我的勇气和希望。

1920年7月

第38课 日语与国际交流

宫地 裕

人说教学相长。在教外国人学习日语时，往往在日语方面被他们所教，受到启发。

“老师，日本人不说‘さよなら’吧？”

“什么？”

“就是‘good—bye’啊，和人分别时，要说‘さよなら’吧。在国内学过。”

“不，说‘さよなら’的。”

“可是，大学生们都不用呀。”

“那说什么？”

“バイバイ。”

是啊，亲近的同伴，特别是年轻人多说“バイバイ”或是“バイ”而挥手告别的。像我这样上了年纪的人有时也用。对儿童说就更理所当然了。一般词典也有的解释为“バイバイ bye—bye（通俗说法）〔原为儿童用语〕再见的意义。”但也有的不列这个词，用于日语教学的教材一般也不出现。这就是

所谓教学日语与生活日语的不同之处。

“老师，‘はい’和‘ええ’有什么区别呢？”

“‘はい’是比较礼貌的回答。”

虽然这么回答，心里却又嘀咕，仅此而已吗？于是思考一下，发现这似乎是个忽略了的重要问题。

首先，“はい”和“ええ”的共通点是都可以用于肯定的回答。

“お土産に果物を持って行ってあげようか。（带些水果送给你作礼物吧）。”

“はい，持って来てください。（好，请带来吧。）”这时的“はい”也可以改说“ええ”。“はい”比较有礼貌，或者说有恭敬之感。当被问到“作文写好了吗？”“您出席明天的会吗？”或“喜欢旅行吗？”等时，“はい”和“ええ”均可使用。可是说：“そこにいるのはだれ。（谁在那儿？）”“はい，三郎です。（欸，是三郎）。”的时候，把“はい”说成“ええ”就不自然了。

“おはようございます。（早上好！）”

“はい，おはよう。（噢，早！）”

“じゃ，さよなら。（那么，再见！）”

“はい，お気をつけて。（好，请多当心！）”等句中的“はい”也是不能说成“ええ”吧。

这么一想，不是可以照下面这么说吗。

“はい”是应酬对方话语的回答，而“ええ”则是在应酬对方谈话的同时认可其内容并给予肯定意义的回答。当被问到“谁？”或“什么时候？”时，不需要认可其内容或者肯定什么，所以能用“はい”而不能用“ええ”。说“早上好！”或“再见！”这种寒暄话时，考虑认可或肯定其内容本身就不合常理，所以这种场合也不能用“ええ”。

刚才说过，“はい”和“ええ”都可以使用的场合是它们在“肯定的答复”这一点上是共同的，但这是指在文理上“はい”也自然地表示肯定意义的场合。

以上暂且算是我的结论吧。可是又一想，“はい”和“ええ”都不仅是答复，还有随声附和的用法，容易混淆。如果以为对方承认了，给了肯定的答复，而实际上只是单纯的随声附和，岂不要产生重大误解。欧美人倾向于听

课文译文

对方谈话时不随声附和。即使随声附和也不用“yes”之类的词。为此，他们有时责怪说：“日本人常说‘yes’‘yes’，可实际上既不肯定，也不赞成，言行不一致。”把意为随声附和的“はい”和“ええ”当作“yes”随意使用，是造成国际性不信任感之源。或许使用的场合也有关系，但切不可轻易使用“yes”。

“老师，‘夢を見る’是惯用语吧？”

听了这话，我不由得一怔。这个问题是在有留学生参加的教室里讨论惯用语问题时，一个中国留学生提出来的。

惯用语是套语的一种，有各种形式。例如“羽を伸ばす（展翅）”，它已脱离了鸟儿舒展翅膀的原意，用于比喻摆脱束缚，自由自在、随心所欲的意思。像这样用于比喻的惯用语，还有“腹が立つ（生气）”“心を打つ（感动）”“鼻にかける（引以自豪）”等等。

与之相反的有极其一般的措辞固定的惯用语，如“電報を打つ（打电报）”“いや気がさす（厌烦）”“気がつく（留神）”等。这些与比喻性惯用语不同，并没有失去原来的意义，但词与词之间的搭配却是固定的。“夢を見る”也属于这类惯用语。对我们日本人来说，“夢”只能是梦见（見る）的东西，用于“嫌な夢を見た（做了个讨厌的梦）”“夢に母を見た（梦里见到了妈妈）”等，虽然也用于“夢のない時代（毫无希望的时代）”“夢と知っていながら（明知是幻想）”的说法。但我们仍认定“梦”本身就是“梦见”的东西，司空见惯，所以反而忽略了它。

那位学生补充说，“中国是说‘做梦’。一般不说‘夢を見る（看梦）’，所以觉得挺有意思”。我问了几个其他国家的留学生，即有类似中国式的说法，也有象英语那样用“dream”一个词来表示的，还有用日语式的“見る”的说法。我学到了各种各样的说法。

第39课 座谈会

——会说话的乐趣

西尾：陈先生到日本几年了？

陈：四年半了。

课文译文

西尾：起初也许有见到之后感到吃惊的地方吧？先从膳食谈起吧。您喜欢日本饭菜吗？

陈：嗯，现在觉得好吃。可是最初品不出滋味来。特别是吃不了生鱼片。好象见到鲜红的鱼肉就有点害怕似的，也不愿意看别人吃。不过，吃了几回之后就能品出味道来了。

团：中国朋友告诉我说，日本饭菜不算“料理”。由于用料精细，所以是“料”。而西餐用料不怎么讲究，要设法做熟了能吃，烹饪方法的理论发达，所以是“理”。只有中国饭菜才称得上是“料理”哪。这话确实有一定的道理。

陈：说的是啊。

团：因为像日本这样的小国可以把新鲜的东西运到各处。而中国那样的大国，在内地就吃不到海里的鱼吧。

陈：是的。有人说在内地的山西省，连猫都不吃鱼。说到食品，来到日本后曾看见“湯”这样的招牌。我以为是卖汤的地方。有男人喝的汤、女人喝的汤，还有松汤。

西尾：噢，是男浴和女浴。还有松浴，那是指的“松の湯”的浴池名称吧。

陈：是的。肚子饿的时候，因为看到卖汤的招牌就想进去，丈夫连忙阻拦说，不对、不对……。因为我丈夫是在日本长大的。

西尾：可是，您没觉得只卖汤的店太荒唐吗？

陈：可是因为这里是外国，谁知会有什么情况呀。

团：陈先生学日语时，遇到像您刚才谈到的“湯”这种与汉语意思不同的日语汉字，感到惊讶了吧。

陈：是的、是的。

西尾：似乎中国人学习日语时，最初看到同样用汉字就以为简单，于是开始学习。可是当明白汉字的意义不尽相同时才开始觉得正因为相似，反而更难。

团：恰如我这个日本人学习汉语一样啊。

西尾：不知不觉就把汉字当成自己国家语言的意思去理解了。

团：这是一点，还有一点是依赖文字胜过发音。

西尾：看教材时边类推（日文）意思边看。而会话时也试着在脑子里排列起

课文译文

文字。

团：是这样。把排列起来的日本汉字用汉语发音读出来，就以为会了。会话时不需要汉字，可是它却在我脑子里出现。结果，由于先在脑子里排字，再翻译过来，所以跟不上速度较快的会话。大概欧美人不依赖字，而是从发音入手的吧。

陈：是吧。

团：日本人由汉字入手，既有利同时又有弊。这点也和中国人学日语的情况相同吧。

陈：不过，不知道汉字也不好记。只靠读音记词，经常出错。我曾把“ケッコウ（可以）”说成了“コッケイ（滑稽）”。还在买“クチベニ（口红）”时，说成了请给我“クチビル（嘴唇）”。

西尾：没事吧？（笑）

陈：不过，现在我也不去有意识地（用汉语的意思）理解日本汉字。

西尾：是为了避免用汉语理解日本汉字的毛病吗？

陈：是的，我觉得自己正处于这个阶段。

团：我学习汉语最吃力的还是四声。有那么多声调哇！不过，多亏陈老师教我学汉语，我（才从中）领悟到日语语调的升降。这对我的工作——创作歌曲特别重要。

陈：噢，是吗？可是团先生的语调挺标准的。不愧是音乐家啊。

西尾：耳朵灵对学好语言很有利的。

团：哪里。我的耳朵还行，可是记忆力差，所以……。不过，学习外语挺愉快的。第一次去中国时，我什么也听不懂。可是自从跟陈老师学习以后，渐渐能听懂别人说什么了。

西尾：即使自己不能参与会话也……。

团：是的。仅仅听得懂就很高兴。慢慢地以后就可以参与了。无论有多好的翻译，还是直接对话更能达到人与人之间的交际目的呀，哪怕是说得不太好也罢。

西尾：说得对呀。听说现在中国有许多人在学习日语，有人说学日语的人有100万左右。

陈：不止，有200万以上吧。一出版广播讲座教材，很快就销售光了。越

课文译文

需要就越会好好学习啊。

团： “有需求才会进步”，对吧。

西尾： 说起来，在日本跟陈老师的电视讲座或广播讲座学习汉语的人不是也有 100 万人以上吗？说明还是有社会需求的。

陈： 是的。或者是由于确实感兴趣。

团： 这也体现出众多的日本人是多么希望与中国友好啊。中国人学习日语，在友好的同时还有为实现现代化的需要吧。

陈： 是的。

团： 两国之间有了友好的愿望，相互的语言学习才会兴旺起来。而当两国之间都感到有吸引力时……。

陈： 哎，所以呀，今后会说日语的中国人和会说汉语的日本人会越来越多的。这样就可以直接交谈，真是太好啦。

西尾： 是啊，确实是件好事。



语法项目一览表

语法项目一览表

・按五十音顺排列	
・数字表示第一次出现的课次	
・いかに…ても, …	39
・いくら…からといっても, …	29
・一向に…ない	22
・…一方で, …	21
・…うえで, …	21
・…(する)うちに, …	36
・…得る/得ない	38
・…恐れがある	28
・…かけ	25
・…かのように, …	24
・…からには, …	23
・…から見ると, …	20
・～が～をむしばむ	36
・…きる/きれない	32
・…くせに, …	32
・…くらいだ	35
・…げに…	34
・原因は～にある	26
・甲は, 乙に限ったことではない	35
・～こそ	23
・…ことになる	31
・…ことは…	29
・…ことはない	21
・こんな…(こと)はない	24
・…さえすれば, …	34

语法项目一览表

・…さえ…のだから、まして…	30
・～盛り	32
・さすがに～だけあって、…	35
・…ず、…	25
・…ずにはおかない	33
・～すら	29
・せいぜい	37
・…そんなものだ	30
・それは…ということである	26
・…たうえで／～のうえで、…	36
・…だけに、(かえって)…	39
・…だけの～	29
・確かに…、しかし…	34
・たとえ…ても	39
・…たところで、…	30
・…たとしたら、…だろう	36
・…たびに、…	28
・～だらけ	23
・～だろうが～だろうが／…ようが…ようが、…	35
・…ついでに、…	32
・…っていうことかな	35
・…ており、…	31
・…ております	28
・てしようがない	29
・…ですもの	21
・～では、…	29
・…ではあるが、…	25
・…ては…、…ては…	24
・～でも	34
・…点で(は)…	38

语法项目一览表

・～といい～といい，…	34
・…と言いますと…	33
・…というところだ	22
・…と言うのである	32
・…と言えばそれまでだが，…	22
・…と言っても過言ではない	21
・とうてい…ない	23
・どうとも	37
・…とか	39
・～と化す	36
・～と変わる	28
・～どき	31
・…どころか，…	30
・…とは限らない	36
・…とばかりに，…	22
・～とも	34
・～内	26
・…ない限り，…	28
・…ないでもない	23
・…ないものか	33
・…ながら，…	33
・…ながらも，…	36
・～など	30
・～ならでは	35
・～ならびに～	27
・～に応じて	30
・…に限ったことではない	35
・…に決まっている	34
・～にしたって，…	35
・～にして	25

语法项目一览表

・～にしろ～にしろ，…	22
・…にすぎない	21
・～に沿って	25
・～につけ	23
・…につれて，…	25
・～にて	27
・…に…ない	30
・…にほかならない	30
・～に恵まれている	21
・…にも，…	32
・～のことを～と思う	37
・…のに対して，…	35
・～のは確かだ	23
・…のようなどころがある	32
・…ばかりだ	24
・…ばかりとなる	36
・…ばかりに，…	24
・…ば…で，…	29
・～ばなれ	30
・～は別として（も）	37
・～はもとより…	22
・…反面，…	33
・…ほか，…	28
・…ほかはない	36
・…まい	30
・まさか…ない	21
・…ませ	22
・…までもない	23
・…までもなく，…	26
・～も～だ	37

语法项目一览表

・…もしない	37
・…ものなら，…	29
・…ものか／もんか	35
・…ものの，…	37
・…ゆえに，…	31
・…ようなところがある	32
・～をはじめとして，…	23

・ 随声附和用语	39
・ 通知的写法	27
・ 话语吞吐时使用的词语	39
・ 接续用语	39
・ 体言结句	31
・ 反语	25
・ 提出问题的表达方式	25



补充词汇表Ⅱ

补充词汇表Ⅱ

台	(た)	大半	大半，过半
題	台，高台	だいぶ	很，极
大意	題，題目	大部分	大部分
体温	(文章的) 大意	大別	大致的区别
大概	体温	大便	大便
体格	大概，概略	待望	期望
大工	体格	題名	題名
体系	木工，木匠	代名詞	代词
対決	体系	題目	題目
太鼓	对质，对证	平らだ	平，平坦
題材	鼓，锣鼓	対立	对立
大使	題材	対話	对话
退治	大使	耐えぬく	经得起
体質	征服	絶える	断，中断
大衆	体质	高ぶる	兴奋，高傲
対象	大众，群众	宝	宝物，宝贝
対照	对象	濁音	浊音
たいして	对照	濁点	浊音符号
退場	不怎么……	妥協	妥协，让步
大臣	退场，下场	託する	托，委托
大好きだ	大臣	巧みだ	巧，巧妙
対する	很喜欢	手繰る	拉近，倒
大成	对	妥結	妥协，谈妥
体制	完成	多少	多少
態勢	体制	たしなむ	爱好，嗜好
大層	状态，姿态	多数	多数
体操	很，非常	携える	携带，偕同
大多数	体操	ただ	唯，只
	大多数	たたえる	赞颂，赞扬

补充词汇表 II

戦う
 畳む
 漂う
 立ち止まる
 断つ
 達成
 盾
 縦
 縦書き
 妥当
 例え
 たどる
 棚
 頼もしい
 種まき
 束
 束ねる
 他方
 玉
 魂
 たまたま
 黙り込む
 ダム
 ため息
 たやすい
 頼る
 だらしない
 足る
 だるい
 たるむ
 垂れる
 俵

战斗
 叠, 折叠
 漂, 摆动
 站住, 止步
 切开, 断, 截
 达成
 盾
 竖, 纵
 竖写
 妥当, 妥善
 比喻
 走, 探索
 搁板, 棚架
 靠得住, 前途有望
 播种, 撒种
 把, 捆
 捆, 扎
 他方, 其他
 玉石, 球, 灯泡
 灵魂
 偶尔, 有时
 沉默, 无言
 水库
 叹气
 容易
 靠, 依靠
 不检点, 吊儿郎当
 足, 够, 值得
 懒惰, 发酸
 松, 松弛
 下垂, 悬挂
 稻草包

段
 短気
 探求
 探検
 男子
 男女
 短所
 たんす
 单数
 断絶
 团体
 团地
 单调だ
 断定
 端的だ
 単に
 担任
 短文
 断片
 たんぼ
 断面
 段落
 弹力
 血
 地下
 誓う
 知觉
 近道
 ちぎる
 蓄積
 地上

楼梯, 台阶
 没耐性, 性急
 探求, 探索
 探险, 探查
 男子
 男女
 短处, 缺点
 衣柜
 单数
 断绝, 绝灭
 团体
 住宅区
 单调
 断定, 判断
 明显的
 仅, 只, 单
 担任, 担当
 短文
 片断, 部分
 田地
 断面, 截面
 段落
 弹力
 (ち)
 血
 地下
 发誓, 宣誓
 知觉, 感觉
 近道, 近路
 撕碎, 弄碎
 积蓄
 地上, 地面

补补词汇表 II

耻辱	耻辱	直後	~之后不久
知性	理智, 智能	直線	直线
乳	乳, 奶	直面	面向, 面对
縮む	缩, 起皱	著作	著作
秩序	秩序	著書	著书
ちっとも	一点儿也	直感	直感
知的だ	理智的	直観	直观
知能	智能	貯蓄	储蓄, 积蓄
茶色い	茶色	著名だ	著名, 闻名
着々	一步一步, 节节	散らかす	乱扔, 弄乱
注	注, 注释	陳列	陈列
中央	中央		(つ)
中華人民共和国	中华人民共和国	追加	追加
忠実だ	忠实	ついに	终于, 终究
抽出	抽出, 抽取	通貨	通货, 流通的货币
抽選	抽签	痛感	痛感
中部	中部	通行	通行
中立	中立	通常	通常
中流	中流, 中游	通じる	通过
長	长, 首领	通用	通用
腸	肠	つえ	手杖
調印	签字	つかえる	堵, 塞
聴覚	听觉	付き添う	跟随, 侍从, 护理
長女	长女, 大女儿	突き通す	扎透, 穿通
調整	调整	月日	明, 岁月
調節	调节	尽くす	尽力, 效力
調停	调停	つくづく	仔细, 细心
頂点	顶点	作り	构造, 样式, 化妆
長男	长子	作り上げる	做成, 完成
重複	重复	次ぐ	接着, 次于
帳面	笔记本, 账簿	継ぐ	继承, 接续
貯金	存款, 储蓄	償う	赔偿, 抵偿

补充词汇表Ⅱ

着ける	穿上, 带上, 佩带	訂正	订正
漬ける	腌, 渍	停滞	停滞, 停顿
筒	筒, 枪筒	堤防	堤防, 堤坝
つつく	捅, 叨, 啄	停留所	(公共汽车的) 车站
突っ込む	冲入, 闯入	手遅れ	为时已晚, 耽误
つなぐ	拴, 系, 结	敵	敌, 敌人
つば	唾液	出来	制成, 作成
粒	粒, 颗粒	敵意	敌意
つぶす	压坏(碎)	適宜	适宜, 适当
壺	壶, 罐, 坛	適切だ	恰当, 适当
つまづく	绊, 绊倒	適用	适用
つまむ	捏, 掐	手際	手法, 技巧
罪	罪, 罪过, 罪责	手応え	反应, 效果
積み卸ろし	装卸	手頃だ	合适, 相当
積む	堆积, 垒积	弟子	弟子, 徒弟
摘む	摘, 采, 掐	手順	次序, 步骤
詰め込む	装满, 塞满	テスト	测验, 考试
詰める	守候, 填	でたらめだ	胡说八道
連なる	成行, 关联, 连接	手近だ	手边, 常见
貫く	贯穿, 贯彻	哲学	哲学
釣り合う	匀称, 平均	鉄橋	铁桥
	(て)	徹する	彻, 透
手当	准备, 津贴, 福利	徹底	彻底, 透彻
手洗い	洗手, 厕所	鉄棒	单杠, 铁条
提起	提出, 提起	鉄砲	步枪
提供	提供, 供给	手ぬぐい	手巾
締結	缔结, 签订	手引き	向导, 引路, 入门
抵抗	抵抗, 反抗	手本	字帖, 样板, 标准
体裁	体裁	手前	面前, 体面, 能耐
停止	停止	手元	手头, 身边
停車	停车	照らす	照, 照耀
提出	提出		

补充词汇表 II

照る	照, 照射
天下	天下, 全国, 全世界
展開	展开
轉換	转换, 转变
伝記	传, 传记
典型	典型
点検	检点, 检查
天国	天国
伝言	传话, 带口信
転ずる	转变, 改变
伝説	传说
電卓	台式电子计算机
伝達	传达, 转达
てんで	完全, 根本, 非常
転倒	翻倒, 跌倒
電灯	电灯
天然	天然, 自然
天皇	天皇
展望	展望
転落	滚下, 掉下
(と)	
都	都(日本行政区), 首都
問い合わせる	问, 打听, 询问
党	党
問う	问, 打听
統一	统一
討議	讨论
動機	动机
同級生	同学
憧憬	憧憬, 向往

登校	上学
統合	统一, 合并
動作	动作
動詞	动词
同質	同一性质
当初	当初
同情	同情
答申	答辩
どうせ	统归, 无论如何
灯台	灯塔
到達	到达
到底	无论如何也……, 怎么也……
読点	逗号
動転	惊慌
尊い	贵重, 珍贵, 宝贵
道德	道德
どうどう	堂堂, 光明正大
どうにも	不管怎么也……
導入	引入, 导入
当番	值日
当否	当否, 是否正确
投票	投票
当分	最近, 暂时
透明だ	透明
どうやら	好歹, 多半, 总觉得
東洋	东洋
動揺	动摇
道理	道理
同僚	同僚, 同事
登録	登记

补充词汇表 II

討論	讨论	突如	突然，冷不防
童話	童话	突然	忽然，突然
当惑	为难，困惑	どっち	哪儿，哪里
通りかかる	路过	突破	突破，打破
溶かす	溶化，溶解	整う	整齐，端正
どかす	挪开，移开	止どまる	留下，停止
とがめる	责备，责怪	とどろく	轰鸣，跳动
とがる	尖，敏锐	怒鳴る	大声招呼，大声喊
時に	偶而，有时候	飛ばす	使飞，放
とぎれる	中断	飛び付く	扑过来，抢
説く	解释，讲解	徒歩	徒步
研ぐ	磨，擦亮	止まる	停住，止住
独自だ	独自，独特	富む	富，富有，富于
読者	读者	ともかく	姑且不论，暂不管
特殊だ	特殊	取り上げる	拿起来，举起，夺取
特集	特辑，专刊	取り扱う	办理，处理
読書	读书	取り消す	取消，作废
特色	特色	取り次ぐ	传达，转达
特質	特征，特性	取り戻す	取回，收回
特定	特定	トルコ	土耳其
独立	独立	どれほど	多么，怎样，怎么
とげ	刺，棘	とんだ	万没想到的，意外的
どける	挪开，移开	とんでもない	出乎意外，不合情理，哪里话
ところどころ	到处，各处	トンネル	隧道，山洞
図書	图书	どんぶり	大碗，海碗
年月	年月，岁月		(な)
閉じ込める	关在里面	内閣	内阁
閉じる	关闭	内心	内心，心中
とじる	订，缝	内省	反省
戸棚	橱，柜		
特許	特别许可，专利		
とっく	很早以前，老早		

补充词汇表 II

内臓	内脏	握る	握, 抓
ナイフ	小刀	憎む	憎恶, 恨, 嫉妒
中でも	特别, 尤其	にこにこ	笑嘻嘻, 笑眯眯
半ば	半, 一半, 中间	濁る	混浊, 污浊
仲間	伙伴, 同事	虹	虹
長引く	拖长, 拖延	にじむ	渗, 洇
仲良し	情投意合, 好朋友	にせ	假, 伪造
慰める	安慰, 安抚	日光	日光
嘆く	叹气, 叹息	日誌	日志, 日记
情け	人情, 情面	日中	日本和中国, 白天
情け深い	热心肠, 有同情心	担う	担, 挑, 担负
なぞなぞ	谜语, 谜语游戏	鈍い	钝, 迟钝, 弱
なだめる	劝解, 哄, 安慰	入学	入学
なだらかだ	平缓, 平稳	ニュージーランド	新西兰
名付ける	命名, 起名	入場	入场
斜め	斜, 倾斜	ニューヨーク	纽约
何分	只是因为, 无奈	にわか	突然, 忽然
何より	最好	人形	偶人, 木偶
なびく	随风摇摆, 服从	人情	人情
怠ける	怠惰, 耍懒	妊娠	怀孕
波	波, 波浪	忍耐	忍耐
なめらかだ	滑溜, 平滑	任務	任务
なめる	舔, 尝, 经历		(ぬ)
成り行き	趋势, 过程, 结果	縫う	缝
縄	绳, 绳索	ぬぐう	擦, 揩掉, 消除
何度	几次, 几回, 屡次	沼	沼泽
南米	南美	温い	微温, 温和
	(に)		(ね)
におう	散发香(臭)味, 鲜艳	値打ち	价值
苦い	苦, 不愉快	寝かせる	使睡觉, 放倒
逃がす	放跑, 跑掉	ねじ	螺钉
		ねじる	扭, 拧

补充词汇表 II

ねたむ	嫉妒, 嫉恨
ねだる	强求, 央求
熱中	热中, 专心, 着迷
寝床	卧具, 床
粘る	发粘, 坚持
練る	熬制, 冶炼
念	念头, 注意, 用心
念入り	周到, 细致
年鉴	年鉴
年月	年月
年中	年中, 一年间
燃料	燃料

(の)

脳	脑, 脑筋
農機具	农机具
農産物	农产品
農場	农场
軒	屋檐
除ける	除掉, 去掉
臨む	面临, 濒临
野原	原野, 野地
延べ	延长, 延期
飲み込む	吞下, 咽下
乗り越える	超越, 越过, 跨过

(は)

刃	刀刃
ハーモニカ	口琴
媒介	媒介, 传播
ばい菌	细菌
背景	背景, 布景
背後	背后, 背地
配合	配合, 配

配置	配置, 安置
ハイヒール	高跟鞋
配布	散发
配分	分配
はう	爬, 匍匐
墓	墓
ばか	傻瓜, 笨蛋
はがす	剥下, 揭下
はかどる	进展
はかり	秤, 天平
パキスタン	巴基斯坦
吐き出す	吐出, 冒出, 倒出
履物	鞋 (类的总称)
吐く	吐, 冒出, 吐露
掃く	扫
はぐ	剥, 扯掉
白紙	白纸
拍手	拍手
白書	白皮书
白昼	白昼, 白天
暴露	暴露
激しい	激烈, 强烈
励む	勤奋
はげる	掉头发, 秃
化ける	变, 化装
派遣	派遣
はさみ	剪子
端	边, 端
橋木	桥本
バスケットボール	篮球
弾む	弹回, 进起
長谷川	长谷川

补充词汇表 II

旗	旗	ハワイ	夏威夷
肌	肌肉	班	班
パターン	型, 类型	反映	反映, 反射
裸	裸体, 赤裸	反響	反响, 回声
果たして	果然, 果真	反抗	反抗
裸足	赤足, 光脚	バンコク	曼谷
罰	罚	万事	万事
発揮	发挥, 施展	反する	反对, 相反, 违反
発掘	发掘	反省	反省
発言	发言	判断	判断
発行	发行	判定	判定, 判断
発電機	发电机	反動	反动
果て	边, 边际, 最后	ハンドル	方向盘
果てる	终, 尽, 完毕	反応	反应
バドミントン	羽毛球	万能	万能, 全能
話しかける	发话, 搭话, 打招呼	半端	不完全, 不齐全
	呼	万物	万物
話し手	说话人	万里の長城	万里长城
放す	撒开, 松开		(ひ)
甚だしい	非常, 很大	悲哀	悲哀
華やかだ	华丽	日当り	向阳处
離れ島	孤岛	ひいては	进而, 进一步
ばね	发条, 弹簧	冷える	变冷, 变凉
跳ねる	跃起, 跳起	控える	等候, 控制, 暂
はまる	正合适, 吻合		不, 面临, 记下
はみ出す	溢出, 挤出	日陰	背阴处
はめる	安上, 嵌, 镶	悲観	悲观
林	林, 树林	～匹	匹
ばらばら	分散, 七零八落	引き上げる	吊起, 打捞, 提升
パリ	巴黎	率いる	率领
張る	张贴	引き受ける	接受, 承担
はるかだ	遥远, 多	引き返す	返回, 折回

补充词汇表Ⅱ

引き換える	换，交换，兑换	筆者	笔者，作者
引き下がる	撒手，罢休	必然	必然
引き締める	勒紧，抓紧，紧缩	一重	一层
引きずる	拖，曳	人柄	人品，品质
引き出し	抽屉	一際	格外，显眼
引き出す	拉出，抽出	人込み	人群拥挤
引き取る	退出，离去	等しい	相同，相等
引き伸ばす	拉长，拖延	人手	他人，旁人
卑怯だ	懦弱，胆小，卑鄙	一通り	大概，大略
引き分け	拉开，平局	人並み	普通，平常
日暮れ	日暮，黄昏	一まとめ	归纳，总括
ひげ	胡须	一回り	一周，一圈
悲劇	悲剧	瞳	瞳孔
備考	备考，备注	独り言	自言自语
被告	被告	ひとりでに	自然而然
ビザ	签证	ひどい	残酷，无情
比重	比重	日向	向阳
秘書	秘书	日にち	日期，时日
非常だ	非常，极，很	ひねる	扭，拧，捻
微少だ	极少，微小	日の丸	红太阳形，日本国旗
ひそかだ	暗中，偷偷，悄悄	ひび	裂口，裂痕
潜む	隐藏	批評	批评
額	额，天庭	皮膚	皮肤
ひたすら	只顾，一味	微妙だ	微妙
浸る	浸，泡	悲鳴	悲鸣
悲嘆	悲叹	ひも	带，细绳
悲痛だ	悲痛	百科事典	百科全书
引っ張る	拉，曳	冷やす	凉一凉，冰镇
引っかける	挂上，挂起来	冷やか	凉，冷，冷淡，冷静
引っ込む	退居，缩进	比喻（ひゆ）	比喻
必死	拼命，殊死	票	票，选票
必至	必然到来		

补充词汇表Ⅱ

鋌 (びょう)	图钉	無気味だ	令人不快
標語	标语	不器用だ	笨, 笨拙
拍子	拍子	不況	萧条, 不景气
描写	描写, 描绘	ふく (体を)	擦
標準	标准	噴く	喷, 涌出, 冒出
表情	表情	福祉	福利
病人	病人	副詞	副词
表面	表面	復習	复习
肥沃	肥沃	服飾	服饰
開く	开, 开放, 打开	複数	复数
平たい	平, 平坦	袋	口袋, 袋
ひるむ	畏怯, 胆怯	父兄	父兄
昼休み	午休	不潔	不干净, 脏
比例	比例	更ける	(季节、夜) 深
披露	披露, 表演, 宣布	不幸	不幸
広場	广场	符号	符号
広々	辽阔, 宽广	夫妻	夫妻
ピン	大头针, 别针	ふさぐ	不舒畅, 郁闷
敏感	敏感	ふざける	开玩笑, 愚弄
品質	质量		(人)
貧弱	瘦弱, 贫弱	節	(竹、苇的) 节
ヒント	暗示, 启发	武士	武士
	(ふ)	不自然だ	不自然, 勉强
府	府, 机关	部首	部首
フィルム	胶卷, 影片	不自由だ	不自由, 不如意
風俗	风俗	不振	不振, 不兴旺
夫婦	夫妇	婦人	妇女
プール	游泳池	伏せる	隐藏, 埋伏
笛	笛子	付属	附属
不可欠だ	不可少, 必须	札	牌子, 条子
不機嫌だ	不愉快, 不高兴	縁	边, 缘, 框
不規則だ	不规则, 零乱	復帰	恢复, 复职, 复原

补充词汇表 II

仏教	佛教	分担	分担
物品	物品, 物件	分離	分离, 分开
筆	毛笔	分量	分量, 重量
太い	粗, 胖, 肥	分類	分类
不当だ	不得当, 不合理	分裂	分裂, 裂开
懷 (ふところ)	怀, 胸, 腰包, 内部	(へ)	丙
ふとん	蒲团, 被褥	へい	闭会
不必要だ	不必要	閉会	闭会
部分	部分, 一部分	平行	平行, 并行
不變	不变, 永恒	米国	美国
父母	父母, 双亲	ページ	页
不明	不明	閉店	关门, 停止营业
部門	部门	平凡	平凡, 普通
不要	不要, 不需要	平面	平面
ぶら下がる	下垂, 耷拉, 吊着	別に	另外, 除此以外
ぶらつく	摇摇晃晃, 摇摇摆摆	別々	分别, 各别
振り	挥动, 摆动	辺	一带, 附近, 边
不利	不利	変革	变革
振り返る	回头看, 回顾	勉学	勤学, 读书
振り仮名	注音假名	偏見	偏见
付録	附录	返済	还债, 还账
風呂敷	包袱皮	編集	编辑
プロレタリア	无产者, 无产阶级	ベンチ	长椅, 长凳
雰囲気	气氛	(ほ)	穗, 尖
分化	分化	穂	穗
分解	分解	歩	步
文芸	文艺	母音	母音, 元音
文献	文献	方位	方位, 方向
紛失	纷失, 丢失	貿易	贸易
文書	文书, 公文	妨害	妨碍, 干扰
		方角	方位, 方向
		放課後	放学后

补充词汇表Ⅱ

放棄	放弃
封建	封建
冒險	冒险
方式	方式
報酬	报酬
防除	防治, 防除
方針	方针
ぼうぜん	茫然, 呆呆
法則	规律
ボート	小船, 小艇
抱負	抱负
方々	各方, 各处
葬る	埋葬, 掩盖
方面	方面
ぼうや	小宝宝
法律	法律
ボール紙	纸板, 厚纸
ボールペン	圆珠笔
ぼかす	晕色, 烘托
保管	保管
補給	补充, 补偿
北部	北部
保険	保险
ほこ	矛
保護	保护
ほころびる	绽线, 开线
保守	保守
補充	补充, 补足
干す	晒, 晾, 烤
補足	补足, 补充
発端	开端, 开始, 起源
骨組み	骨架, 骨骼

炎	火焰, 火苗
ほのぼの	模糊, 朦胧
堀	渠, 沟
掘る	挖, 掘
彫る	雕刻
滅びる	灭亡, 灭绝
滅ぶ	灭亡
盆	盆
本格	正式, 正规
本質	本质, 实质
本日	本日, 今天
本能	本能
ポンプ	泵, 抽水机
本物	真货
ぼんやり	呆子, 发呆, 直楞
	楞地
(ま)	
毎月	每月, 月月
舞う	飘, 飞舞
前向き	朝前, 面向正面
任せる	委托, 任凭
紛らす	蒙混, 掩饰
間際	将要……的时候
幕	幕, 幕布
巻く	卷, 卷起, 拧
蒔く	播(种)
まくる	卷, 卷起, 挽
曲げる	弯曲
真心	真心, 诚意
升(ます)	升, 斗形
まずい	不好吃, 拙劣,
	丑, 难看

补充词汇表Ⅱ

股	股，胯	味方	己方，同伙，伙伴
またがる	跨，乘，骑	見極める	看清，看透
またぐ	迈过，跨过	未熟だ	不成熟，不熟练
または	或，或是	みじん	微量，微小
まだら	斑点，花斑	自ら	亲自，亲身
真っ黒だ	乌黑，漆黑	水たまり	水洼，水坑
真っ白だ	雪白	みずみずしい	新鲜，娇嫩
松本	松本	未然	未然，未发生前
祭る	祭祀	溝	水沟，槽
まぬかれる	免，避免	満たす	填满，充满
まね	学，装，模仿	みだりだ	擅自，随便
麻痺	麻痹，瘫痪	乱れる	乱，杂乱
まぶしい	晃眼，耀眼	道	道，道路，路程
まぶた	眼皮，眼睑	未知	未知，不知道
真冬	严冬，隆冬	道順	路线，顺序
魔法	魔术，妖术	道筋	道路，路线，条理
間もなく	不久，不一会儿	身近だ	切身的，身旁
まゆ	眉，眉毛	密度	密度
丸	圆形，球形	見詰める	盯着，凝视
マルクス	马克思	みっともない	不好看，不像样
まるっきり	完全，全然，简直	未定	未定
丸める	弄圆，揉成团	見通し	预测，预料
まれだ	稀少，稀奇	港	港，港口，码头
回す	转，旋转	見習う	模仿
回る	转，旋转	醜い	丑，难看
万一	万一，倘若	身のうえ	境遇，身世
	(み)	身分	身分，地位
見合わせる	相互看着，对照	見本	样品，样本
見落とす	漏看，忽略	民間	民间，世间
見下ろす	俯视，往下看	民主	民主
味覚	味觉	民衆	民众
磨く	刷，擦亮		

补充词汇表Ⅱ

(む)

無意識	无意识
剥く	剥, 削
報いる	酬谢, 报答
無限	无限
婿	婿
惨い	悲惨, 残酷
向こう	对面, 前头, 对方
無効	无效, 失效
無残	凄惨, 残酷
むしろ	宁可, 莫如
無心	无心, 天真
蒸す	闷热
無数	无数
無断	擅自
夢中だ	热中于……, 着迷
空しい	空, 空虚
旨	趣旨, 意旨
むやみだ	胡乱, 随便
無用	无用, 没有用处
むら	(颜色) 深浅不均, 斑点
群がる	群聚, 群集
紫	紫色
群れ	一伙, 一帮, 群
室町	室町(地名)
無論	当然, 不用说

(め)

目当て	目标, 企图, 指望
名作	名作
名詞	名词
迷信	迷信

名称

名誉

明朗

メーデー

目上

めくる

目覚める

飯

目下

目印

メス

めど

めばしい

目盛り

免許

面積

面目

もうける

申し込む

毛布

網羅

燃える

モーターボート

もがく

目次

目標

潜る

模型

もしも

名称

名誉

明朗, 公正, 不隐讳

五一国际劳动节

上司, 上级, 长辈

翻(书等), 揭下, 撕下

睡醒, 醒悟

饭, 主食

部下, 下级, 晚辈

记号, 标记

雌, 牝, 母

目标, 眉目, 头绪

出色, 显著, 值钱(尺、秤等的)刻度

执照

面积

脸面, 面目

(も)

设立, 设置

报名, 申请

毛毯, 毯子

网罗, 收罗

燃烧, 着火

汽艇, 快速艇

翻滚, 挣扎

目录, 目次

目标

潜入, 钻进

模型

假使, 万一

补充词汇表Ⅱ

もたれる	凭靠, 不消化	やっき	着急, 急躁
持ち上げる	拿起, 举起	やってくる	来
持ち出す	拿出去	やっと	好不容易, 勉强
目下(もっか)	目前, 当前	敗れる	败, 败北
もったいない	可惜, 过分	破れる	破, 裂, 破灭
もつれる	纠缠, 不灵, 纠纷	病	病
基づく	根据, 依照	山口	山口
もとより	本来, 原来	山崎	山崎
者	人, 者	大和	大和
物事	事物, 事情	やまやま	群山
ものすごい	可怕, 惊人	やや	稍稍, 稍微
模範	模范, 榜样	ややこしい	复杂的, 麻烦的
模倣	模仿, 仿照	やら	表示不确定、 列举
木綿	棉花, 棉线, 棉织 品	やりかた	作法, 方法
腿(もも)	大腿	和らげる	使之柔和, 委婉
燃やす	烧, 燃烧	(ゆ)	
模様	花样, 花纹	唯一	唯一, 独一
漏る	漏	憂鬱	阴沉, 忧郁
盛る	盛满, 装满	優越	优越
漏れる	漏出, 走漏	勇敢	勇敢
もろい	易坏, 脆弱	有機	有机
	(や)	夕暮れ	傍晚, 黄昏
やかましい	吵闹, 嘈杂	有限	有限
野外	野外, 郊外	夕立	骤雨, 雷阵雨
焼き物	陶瓷	悠長	悠闲, 稳静
役者	演员	融通	畅通, 通融
役立てる	使用, 用于	夕飯	晚饭
やすやす	容易, 轻易	夕日	夕日, 夕阳
やすらかだ	安稳, 安静	有力	有力
やたら	任意, 胡乱, 过分	愉快	愉快, 有趣
やっかい	麻烦, 难办, 照顾	ゆがむ	歪, 斜

补充词汇表 II

ゆき来	往来, 交往
ゆき詰まる	行不通, 停滞
ゆく	流逝, 经过
行方	去向, 下落
湯気	热气
輸出	输出, 出口
揺する	摇动, 摇晃
委ねる	委托, 献(身)
夢	梦, 梦想, 理想
夢見る	做梦, 梦见
由来	来历, 由来
ゆらす	摇动
緩やか	缓慢, 缓和

(よ)

世	世, 社会, 世间
夜明け	拂晓, 黎明
酔う	醉
容易	容易, 轻而易举
要因	主要原因
要求	要求
用具	用具, 工具
用事	事情, 工作
様式	样式, 方式
用心	小心, 留神
要請	请求, 要求
要素	因素, 要素
幼稚園	幼儿园
要点	要点
要約	要点, 概要
用例	用例
予期	预期
抑制	抑制, 制止

翌年	翌年, 第二年
欲張る	贪婪
欲望	欲望
よくよく	小心翼翼
余計	多余, 无用, 更加
よける	躲避, 避开
横書き	横写
横たわる	躺卧, 横放
予算	预算
善し悪し	善恶, 好坏, 是非
止す	停止, 作罢
寄せる	移近, 召集, 寄居, 寄送

よそ	别处, 他乡
予測	预测, 预料
余地	余地, 空地
欲求	欲求, 欲望
ヨット	快艇, 游艇
夜中	半夜, 夜半
世の中	世间, 社会
余分	剩余, 多余
読み手	读者
余裕	富裕, 充裕, 从容
因る	根据, 按照
よろしい	好, 行, 可以
弱虫	懦夫

(ら)

らくらく	舒服, 安适, 快乐
楽観	乐观

(り)

理解	理解
利害	利害, 利弊

补充词汇表Ⅱ

陸上 陆上, 陆地
利口 聪明, 伶俐
リズム 节奏, 韵律
理性 理性
利息 利息
理知 理智
立脚 立足, 根据
立体 立体
理念 理念, 理性
留意 留心, 注意
流動 流动
猟 猎, 狩猎
領域 领域
了解 了解, 谅解
両側 两侧, 两边
領事 领事
良識 良识, 明智
良心 良心
療養 疗养
旅券 护照
離陸 离地, 起飞
理論 理论

(る)
類型 类型
類似 类似, 相似
留守番 看门

(れ)
零 零
例外 例外
礼儀 礼节, 礼法
冷静 冷静, 沉着
冷淡 冷淡, 不关心

レール 轨道, 横杆
レベル 水平, 水准
恋愛 恋爱
連日 连日
連想 联想
連体詞 连体词

(ろ)
ろうそく 蜡烛
労働者 工人, 劳动者
朗読 朗读
ろうばい 狼狽
ローマ 罗马
録音 录音
ロケット 火箭
露骨 露骨
論 论证, 议论
論拠 论据
論証 论证
論説 评论, 社论
ロンドン 伦敦
論理 道理, 逻辑

(わ)
羽 (数禽, 免等的单位) 只
輪 车轮, 圈, 环
和歌 和歌
我が国 我国
沸かす 烧开, 熔化
分かち書き (为易读懂) 把句
节或词之间分开的
写法
わがまま 任性, 放肆



国防大学 2 063 3989 9

补充词汇表Ⅱ

別れる
脇
枠
分ける
わざと
災い
わな

分别，分手
腋
框，界线
分，分开
故意地
灾祸，灾难
圈套

わびしい
わびる
割
割引
割り当て
ワンピース

寂寞，寂静
道歉，赔不是
比例，分配
折扣，减价
分配，分摊
连衣裙

